

平成19年度「市民の声」アンケート調査  
結果報告書

平成 19 年 9 月

総 社 市

# 目 次

I	調査の概要	1
II	回答者の基本的な属性	3
III	調査の分析	5
	(1) 郷土愛	5
	(2) 住みやすさ	7
	(3) 居住意向	9
	(4) 市政への関心度	13
	(5) 行政サービスへの満足度	17
	(6) 地域情報の入手手段	21
	(7) 将来の地域活動に対する不安の有無	23
	(8) 地域活動への参加意向	25
	(9) 協働のまちづくりを進める上で必要と思われる分野	27
	(10) 5年前と比較したくらしや生活環境	29
	(11) 今後、優先的に取り組んでほしいこと	33
	(12) 総社市の将来像	41
	(13) 意見・要望	4

# I 調査の概要

## 1. 調査の目的

合併や社会情勢の変化に伴う市民の意識の推移や望む施策の方向性などを把握し、これからのまちづくりの参考とすることを目的とする。

## 2. 調査の設計

- (1) 調査対象 2,500人（総社市に居住する20歳以上の人・無作為抽出による）
- (2) 調査方法 郵送によるアンケート調査
- (3) 調査期間 平成19年8月

## 3. 回収状況

- (1) 配布数 2,500件
- (2) 回収数 1,202件
- (3) 回収率 48.1%

## 4. 標本誤差

今回の調査の回答結果から、調査対象となる母集団全体（総社市の全世帯）の比率を推定するために、単純無作為抽出の場合の標本誤差について、＜算出式＞と＜早見表＞を次に示す。

標本誤差は次式で統計学的に得られ、①比率算出の基数（サンプル数）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なる。今回調査の誤差幅は±2.88%以内となる。

＜標本誤差算出式＞

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N = 母集団数（総社市全世帯）  
 n = 比率算出の基数（回答サンプル数）  
 p = 回答の比率（0 ≤ p ≤ 1）

＜誤差早見表＞

回答比率(p) 標本数(n)	5%または 95%程度	10%または 90%程度	20%または 80%程度	30%または 70%程度	40%または 60%程度	50%程度
500	±1.95%	±2.68%	±3.58%	±4.10%	±4.38%	±4.47%
1,000	±1.38%	±1.90%	±2.53%	±2.90%	±3.10%	±3.16%
1,202	±1.26%	±1.73%	±2.31%	±2.64%	±2.83%	±2.88%
2,000	±0.97%	±1.34%	±1.79%	±2.05%	±2.19%	±2.24%
5,000	±0.62%	±0.85%	±1.13%	±1.30%	±1.39%	±1.41%
10,000	±0.44%	±0.60%	±0.80%	±0.92%	±0.98%	±1.00%

※上表は  $\frac{N-n}{N-1} \approx 1$  として算出している。なお、この表の計算式の信頼度は95%である。

## 5. 調査項目

### (1) 基本的な属性

①性別・②年齢・③居住地

### (2) 郷土愛 (問1)

### (3) 住みやすさ (問2)

### (4) 居留意向 (問3)

### (5) 市政への関心度 (問4)

### (6) 行政サービスへの満足度 (問5)

### (7) 地域情報の入手手段 (問6)

### (8) 将来の地域活動に対する不安の有無 (問7)

### (9) 地域活動への参加意向 (問8)

### (10) 協働のまちづくりを進める上に必要と思われる項目 (問9)

### (11) 5年前と比較したくらしや生活環境 (問10)

### (12) 今後、優先的に取り組んでほしいこと (問11)

### (13) 総社市の将来像 (問12)

### (14) 意見・要望

## 6. 報告書の見方

(1) 図表中のNとは、回答者総数のことである。

(2) 割合はNを **100.0%**として算出し、小数点以下第二位を四捨五入したため合計が **100.0%**にならない場合がある。

(3) 回答が2つ以上ありうる複数回答は、比率の合計は **100.0%**を超える場合がある。

## II 回答者の基本的な属性

### (1) 性別

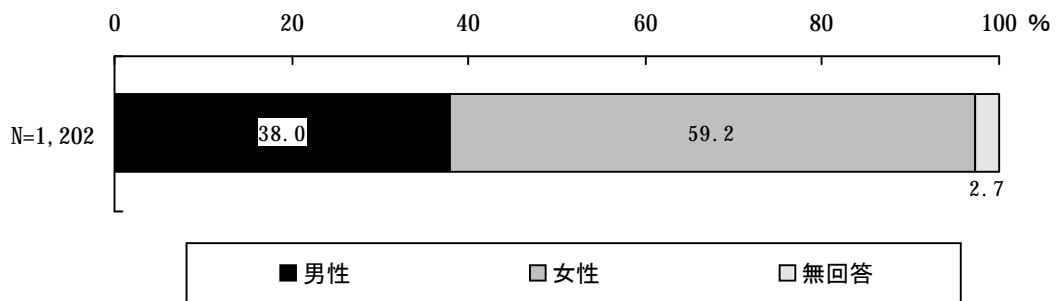


図1 性別

### (2) 年齢

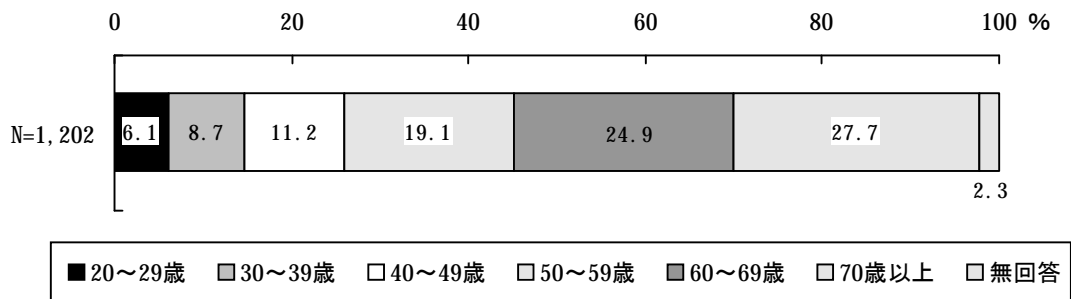


図2 年齢

(3) 居住地

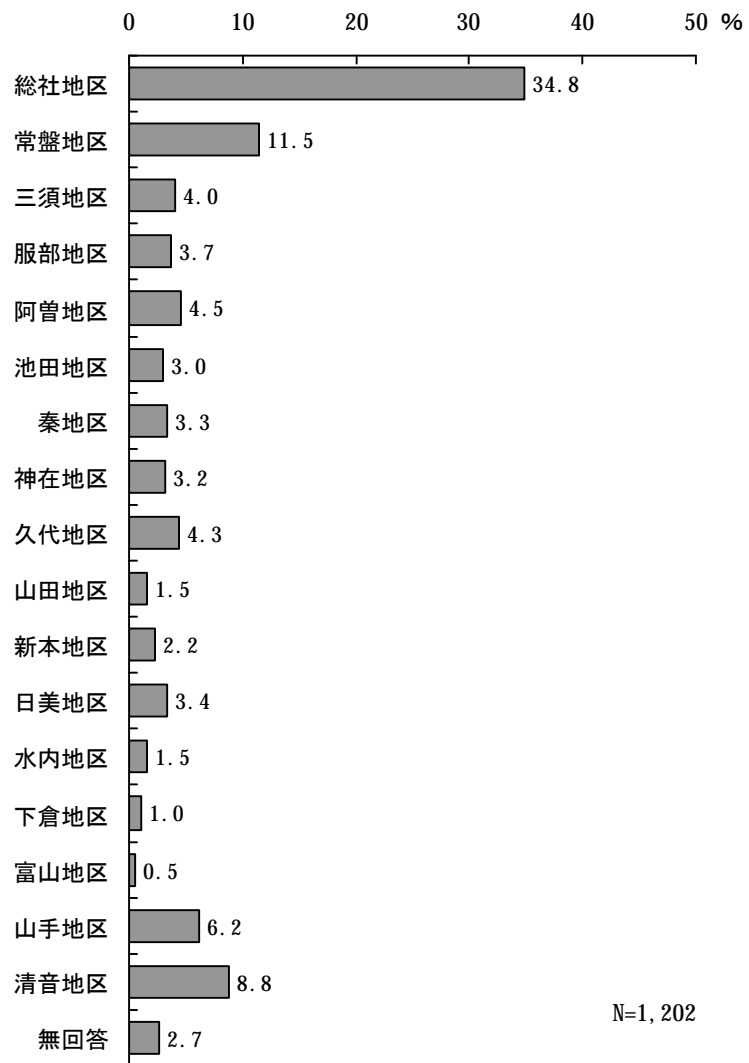


図3 居住地

### Ⅲ 調査の分析

#### (1) 郷土愛

問1 あなたは、総社市への郷土愛を感じますか。次の項目のなかから1つ選んでください。

総社市への郷土愛については、「感じる」が39.0%、「どちらかといえば感じる」が40.8%で、両者合わせると79.8%になり、8割の住民が郷土愛を抱いていると見ることができる。一方、「どちらかといえば感じない」は13.6%、「感じない」は4.4%となっている。

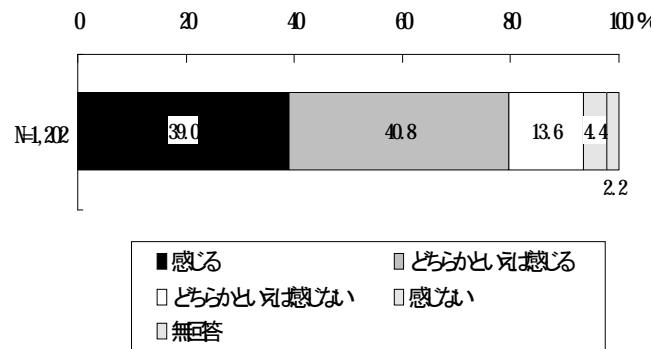


図4 郷土愛

属性別で見ると、“性別”での大きな違いは見られない。“年齢別”では、40歳代以下では郷土愛を「感じる」に示す割合が20%台であるのに対し、50歳以上の人たちは40%以上と高くなっている。

また、“居住地別”においては、「下倉地区」、「富山地区」が「感じる」に示す割合がともに66.7%で最も高くなっている。一方、「感じる」とする割合が低くなっている地区は、「清音地区」(18.9%)、「神在地区」(28.9%)である。

表1 属性別に見た郷土愛

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	感じる	どちらかとい えは感じる	どちらかとい えは感じない	感じない	無回答
全 体		1,202 100.0	469 39.0	490 40.8	163 13.6	53 4.4	27 2.2
性 別	男性	457 100.0	185 40.5	182 39.8	69 15.1	20 4.4	1 0.2
	女性	712 100.0	280 39.3	306 43.0	93 13.1	31 4.4	2 0.3
	無回答	33 100.0	4 12.1	2 6.1	1 3.0	2 6.1	24 72.7
年 齢	20～29歳	73 100.0	21 28.8	33 45.2	15 20.5	4 5.5	0 0.0
	30～39歳	104 100.0	26 25.0	54 51.9	12 11.5	12 11.5	0 0.0
	40～49歳	135 100.0	38 28.1	66 48.9	19 14.1	12 8.9	0 0.0
	50～59歳	230 100.0	94 40.9	91 39.6	37 16.1	7 3.0	1 0.4
	60～69歳	299 100.0	120 40.1	115 38.5	51 17.1	13 4.3	0 0.0
	70歳以上	333 100.0	168 50.5	130 39.0	29 8.7	4 1.2	2 0.6
	無回答	28 100.0	2 7.1	1 3.6	0 0.0	1 3.6	24 85.7
	居 住 地	総社地区	418 100.0	169 40.4	177 42.3	58 13.9	13 3.1
常盤地区		138 100.0	59 42.8	61 44.2	13 9.4	5 3.6	0 0.0
三須地区		48 100.0	23 47.9	19 39.6	3 6.3	1 2.1	2 4.2
服部地区		44 100.0	17 38.6	21 47.7	4 9.1	2 4.5	0 0.0
阿曾地区		54 100.0	29 53.7	21 38.9	4 7.4	0 0.0	0 0.0
池田地区		36 100.0	14 38.9	18 50.0	4 11.1	0 0.0	0 0.0
秦地区		40 100.0	17 42.5	20 50.0	2 5.0	1 2.5	0 0.0
神在地区		38 100.0	11 28.9	18 47.4	4 10.5	5 13.2	0 0.0
久代地区		52 100.0	27 51.9	21 40.4	3 5.8	1 1.9	0 0.0
山田地区		18 100.0	9 50.0	5 27.8	3 16.7	1 5.6	0 0.0
新本地区		27 100.0	12 44.4	10 37.0	4 14.8	1 3.7	0 0.0
日美地区		41 100.0	15 36.6	19 46.3	5 12.2	2 4.9	0 0.0
水内地区		18 100.0	8 44.4	8 44.4	2 11.1	0 0.0	0 0.0
下倉地区		12 100.0	8 66.7	3 25.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0
富山地区		6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0
山手地区		74 100.0	26 35.1	24 32.4	13 17.6	11 14.9	0 0.0
清音地区		106 100.0	20 18.9	40 37.7	38 35.8	8 7.5	0 0.0
無回答		32 100.0	1 3.1	4 12.5	1 3.1	2 6.3	24 75.0



住みやすさから郷土愛を見ると、「たいへん住みよい」で、「感じる」が75.9%で最も高く、「どちらかといえば感じる」が40.8%となっている。「どちらかといえば、住みよい」では、「どちらかといえば感じる」が50.6%で最も高く、これに「感じる」が40.3%でつづいている。また、「普通」では、「どちらかといえば感じる」が46.3%、「感じる」と「どちらかといえば感じない」が、それぞれ25.1%、22.7%となっている。

表2 住みやすさから見た郷土愛

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	感じる	どちらかとい えば感じる	どちらかとい えば感じ ない	感じない	無回答
全 体		1,202	469	490	163	53	27
		100.0	39.0	40.8	13.6	4.4	2.2
問 2 住 み や す さ	たいへん住みよい	237	180	51	2	2	2
		100.0	75.9	21.5	0.8	0.8	0.8
	どちらかといえば、住みよい	407	164	206	29	7	1
		100.0	40.3	50.6	7.1	1.7	0.2
	普通	454	114	210	103	27	0
		100.0	25.1	46.3	22.7	5.9	0.0
	住みにくい	73	11	23	26	13	0
	100.0	15.1	31.5	35.6	17.8	0.0	
非常に住みにくい	8	0	0	3	4	1	
	100.0	0.0	0.0	37.5	50.0	12.5	
無回答	23	0	0	0	0	23	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

(2) 住みやすさ

問2 あなたは、総社市を住みよいところだと思いますか。次の項目のなかから1つ選んでください。

住みやすさについては、「普通」が37.8%で最も多くなっている。次いで、「どちらかといえば、住みよい」が33.9%、「たいへん住みよい」が19.7%になっており、両者を合わせると53.6%で、5割強が「住みよい」としている。一方、「住みにくい」（「住みにくい」6.1%と「非常に住みにくい」0.7%）という回答は6.8%で、1割に満たない。

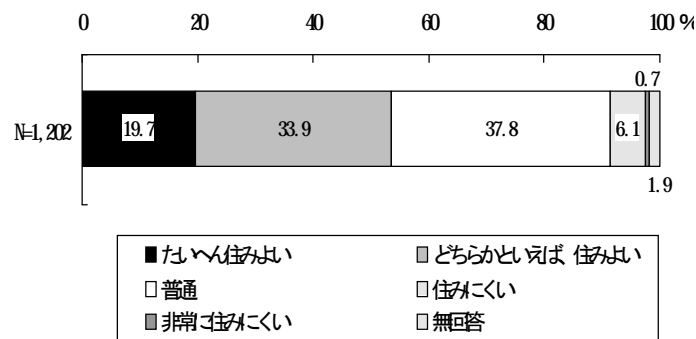


図5 住みやすさ

属性別で見ると、“性別”ではほとんど違いは見られないが、“年齢別”では、「30～39歳」で「住みよい」（「たいへん住みよい」と「どちらかといえば、住みよい」）とする割合が65.4%と高くなっている。

また、“居住地別”で見た場合、「総社地区」、「常盤地区」、「三須地区」、「久代地区」がともに「住みよい」に示す割合が6割強であるのに対し、「清音地区」では4割弱、「山田地区」においては3割弱と低くなっている。

表3 属性別に見た住みやすさ

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	たいへん住みよい	どちらかといえば、住みよい	普通	住みにくい	非常に住みにくい	無回答
全 体		1,202 100.0	237 19.7	407 33.9	454 37.8	73 6.1	8 0.7	23 1.9
性別	男性	457 100.0	93 20.4	159 34.8	167 36.5	35 7.7	3 0.7	0 0.0
	女性	712 100.0	141 19.8	248 34.8	281 39.5	37 5.2	5 0.7	0 0.0
	無回答	33 100.0	3 9.1	0 0.0	6 18.2	1 3.0	0 0.0	23 69.7
年齢	20～29歳	73 100.0	9 12.3	31 42.5	26 35.6	6 8.2	1 1.4	0 0.0
	30～39歳	104 100.0	18 17.3	50 48.1	27 26.0	8 7.7	1 1.0	0 0.0
	40～49歳	135 100.0	33 24.4	45 33.3	45 33.3	11 8.1	1 0.7	0 0.0
	50～59歳	230 100.0	46 20.0	84 36.5	87 37.8	11 4.8	2 0.9	0 0.0
	60～69歳	299 100.0	48 16.1	97 32.4	131 43.8	22 7.4	1 0.3	0 0.0
	70歳以上	333 100.0	81 24.3	100 30.0	135 40.5	15 4.5	2 0.6	0 0.0
	無回答	28 100.0	2 7.1	0 0.0	3 10.7	0 0.0	0 0.0	23 82.1
	居住地	総社地区	418 100.0	114 27.3	141 33.7	145 34.7	16 3.8	2 0.5
常盤地区		138 100.0	25 18.1	58 42.0	53 38.4	2 1.4	0 0.0	0 0.0
三須地区		48 100.0	5 10.4	26 54.2	14 29.2	2 4.2	1 2.1	0 0.0
服部地区		44 100.0	7 15.9	19 43.2	17 38.6	1 2.3	0 0.0	0 0.0
阿曾地区		54 100.0	15 27.8	14 25.9	20 37.0	5 9.3	0 0.0	0 0.0
池田地区		36 100.0	5 13.9	9 25.0	19 52.8	3 8.3	0 0.0	0 0.0
秦地区		40 100.0	6 15.0	10 25.0	23 57.5	1 2.5	0 0.0	0 0.0
神在地区		38 100.0	6 15.8	13 34.2	14 36.8	5 13.2	0 0.0	0 0.0
久代地区		52 100.0	12 23.1	20 38.5	17 32.7	3 5.8	0 0.0	0 0.0
山田地区		18 100.0	4 22.2	1 5.6	10 55.6	3 16.7	0 0.0	0 0.0
新本地区		27 100.0	4 14.8	9 33.3	10 37.0	4 14.8	0 0.0	0 0.0
日美地区		41 100.0	3 7.3	18 43.9	16 39.0	3 7.3	1 2.4	0 0.0
水内地区		18 100.0	1 5.6	8 44.4	9 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
下倉地区		12 100.0	2 16.7	5 41.7	4 33.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0
富山地区		6 100.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0
山手地区		74 100.0	12 16.2	26 35.1	30 40.5	5 6.8	1 1.4	0 0.0
清音地区		106 100.0	13 12.3	28 26.4	46 43.4	18 17.0	1 0.9	0 0.0
無回答		32 100.0	1 3.1	1 3.1	5 15.6	1 3.1	1 3.1	23 71.9

郷土愛から住みやすさを見ると、郷土愛を「感じる」で「たいへん住みよい」が**38.4%**で、これに「どちらかといえば、住みよい」が**35.0%**、「普通」が**24.3%**でつづいている。一方、「どちらかといえば感じない」では、「普通」が**63.2%**で最も高く、「どちらかといえば、住みよい」は**17.8%**にとどまっている。

表 4 郷土愛から見た住みやすさ

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	たいへん住みよい	どちらかといえば、住みよい	普通	住みにくい	非常に住みにくい	無回答
全 体		1,202 100.0	237 19.7	407 33.9	454 37.8	73 6.1	8 0.7	23 1.9
問 1 郷 土 愛	感じる	469 100.0	180 38.4	164 35.0	114 24.3	11 2.3	0 0.0	0 0.0
	どちらかといえば感じる	490 100.0	51 10.4	206 42.0	210 42.9	23 4.7	0 0.0	0 0.0
	どちらかといえば感じない	163 100.0	2 1.2	29 17.8	103 63.2	26 16.0	3 1.8	0 0.0
	感じない	53 100.0	2 3.8	7 13.2	27 50.9	13 24.5	4 7.5	0 0.0
	無回答	27 100.0	2 7.4	1 3.7	0 0.0	0 0.0	1 3.7	23 85.2

(3) 居住意向

問3 あなたは、今後も総社市に住み続けたいと思いますか。次の項目のなかから1つ選んでください。

居住意向については、「ずっと住み続けたい」が**70.4%**で最も高くなっている。次いで、「当分の間住みたい」が**20.1%**である。「転出したい」（「できれば他の市町村に転出したい」**6.1%**と「他の市町村に転出したい」**1.1%**）は、**7.2%**で1割にも満たない。

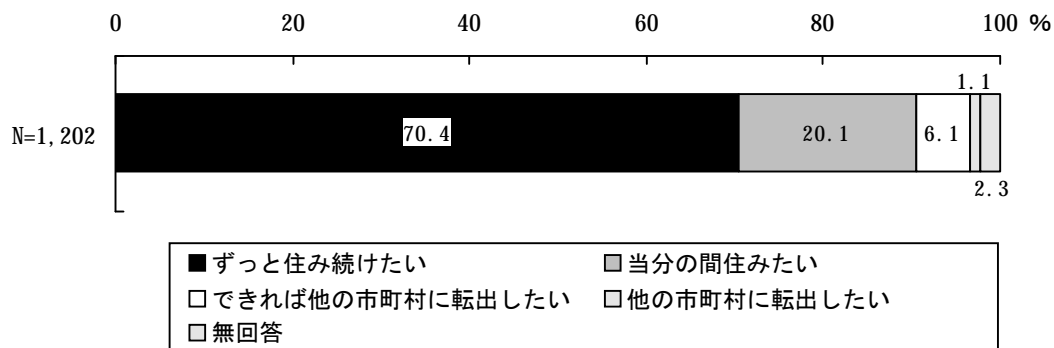


図 6 居住意向

属性別で見ると、“性別”では大きな違いは見られないが、“年齢別”では、「20～29歳」において「当分の間住みたい」が58.9%で、全体の20.1%に比べて際だって高く、また、「できれば他の市町村に転出したい」が15.1%を示し、他の年齢層よりも高くなっている。

「居住地別」で見た場合、「服部地区」、「秦地区」、「水内地区」、「下倉地区」では、「ずっと住み続けたい」が8割を示し、「転出したい」（「できれば他の市町村に転出したい」と「他の市町村に転出したい」）とする回答はない。

表5 属性別に見た居住意向

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	ずっと住み続けたい	当分の間住みたい	できれば他の市町村に転出したい	他の市町村に転出したい	無回答
全 体		1,202 100.0	846 70.4	242 20.1	73 6.1	13 1.1	28 2.3
性別	男性	457 100.0	335 73.3	88 19.3	26 5.7	7 1.5	1 0.2
	女性	712 100.0	504 70.8	153 21.5	45 6.3	6 0.8	4 0.6
	無回答	33 100.0	7 21.2	1 3.0	2 6.1	0 0.0	23 69.7
年齢	20～29歳	73 100.0	17 23.3	43 58.9	11 15.1	2 2.7	0 0.0
	30～39歳	104 100.0	57 54.8	33 31.7	10 9.6	3 2.9	1 1.0
	40～49歳	135 100.0	76 56.3	45 33.3	11 8.1	1 0.7	2 1.5
	50～59歳	230 100.0	165 71.7	51 22.2	11 4.8	3 1.3	0 0.0
	60～69歳	299 100.0	231 77.3	45 15.1	21 7.0	2 0.7	0 0.0
	70歳以上	333 100.0	297 89.2	24 7.2	8 2.4	2 0.6	2 0.6
	無回答	28 100.0	3 10.7	1 3.6	1 3.6	0 0.0	23 82.1
	居住地	総社地区	418 100.0	287 68.7	97 23.2	30 7.2	4 1.0
常盤地区		138 100.0	102 73.9	29 21.0	5 3.6	2 1.4	0 0.0
三須地区		48 100.0	34 70.8	9 18.8	3 6.3	1 2.1	1 2.1
服部地区		44 100.0	35 79.5	8 18.2	0 0.0	0 0.0	1 2.3
阿曾地区		54 100.0	39 72.2	12 22.2	3 5.6	0 0.0	0 0.0
池田地区		36 100.0	25 69.4	9 25.0	2 5.6	0 0.0	0 0.0
秦地区		40 100.0	32 80.0	8 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
神在地区		38 100.0	28 73.7	7 18.4	3 7.9	0 0.0	0 0.0
久代地区		52 100.0	43 82.7	5 9.6	4 7.7	0 0.0	0 0.0
山田地区		18 100.0	12 66.7	5 27.8	1 5.6	0 0.0	0 0.0
新本地区		27 100.0	21 77.8	4 14.8	1 3.7	1 3.7	0 0.0
日美地区		41 100.0	33 80.5	5 12.2	1 2.4	1 2.4	1 2.4
水内地区		18 100.0	16 88.9	2 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
下倉地区		12 100.0	10 83.3	2 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0
富山地区		6 100.0	5 83.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0
山手地区		74 100.0	56 75.7	14 18.9	2 2.7	0 0.0	2 2.7
清音地区		106 100.0	65 61.3	23 21.7	15 14.2	3 2.8	0 0.0
無回答		32 100.0	3 9.4	3 9.4	2 6.3	1 3.1	23 71.9

郷土愛から見た居住意向では、「感じる」で「ずっと住み続けたい」が **89.6%**で最も高い。一方、「どちらかといえば、感じない」では、「ずっと住み続けたい」と「当分の間住みたい」が、それぞれ **39.3%**となっている。

表 6 郷土愛から見た居住意向

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	ずっと住み続けたい	当分の間住みたい	できれば他の市町村に転出したい	他の市町村に転出した	無回答
全 体		1,202 100.0	846 70.4	242 20.1	73 6.1	13 1.1	28 2.3
問 1 郷土愛	感じる	469 100.0	420 89.6	38 8.1	9 1.9	1 0.2	1 0.2
	どちらかといえば感じる	490 100.0	344 70.2	119 24.3	20 4.1	4 0.8	3 0.6
	どちらかといえば感じない	163 100.0	64 39.3	64 39.3	31 19.0	4 2.5	0 0.0
	感じない	53 100.0	15 28.3	21 39.6	13 24.5	3 5.7	1 1.9
	無回答	27 100.0	3 11.1	0 0.0	0 0.0	1 3.7	23 85.2

住みやすさから居住意向を見ると、「たいへん住みよい」で、「ずっと住み続けたい」が **94.5%**で最も高く、「どちらかといえば、住みよい」では、「ずっと住み続けたい」は **78.4%**で、「当分の間住みたい」は **19.2%**となっている。これに対し、「普通」では、「ずっと住み続けたい」が **63.2%**、「当分の間住みたい」が **28.2%**となっている。

表 7 住みやすさから見た居住意向

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	ずっと住み続けたい	当分の間住みたい	できれば他の市町村に転出したい	他の市町村に転出した	無回答
全 体		1,202 100.0	846 70.4	242 20.1	73 6.1	13 1.1	28 2.3
問 2 住みやすさ	たいへん住みよい	237 100.0	224 94.5	12 5.1	1 0.4	0 0.0	0 0.0
	どちらかといえば、住みよい	407 100.0	319 78.4	78 19.2	5 1.2	2 0.5	3 0.7
	普通	454 100.0	287 63.2	128 28.2	34 7.5	4 0.9	1 0.2
	住みにくい	73 100.0	15 20.5	24 32.9	30 41.1	4 5.5	0 0.0
	非常に住みにくい	8 100.0	1 12.5	0 0.0	3 37.5	3 37.5	1 12.5
	無回答	23 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	23 100.0

良くなったと感じることから見た居住意向では、全体として大きな特徴は見られないが、「福祉・医療・健康づくり活動の充実」で、「ずっと住み続けたい」が81.5%と高くなっている。

表8 良くなったと感じることから見た居住意向

		(上段：件数、下段：%)					
区分	全体	ずっと住み続けたい	当分の間住みたい	できれば他の市町村に転出したい	他の市町村に転出した	無回答	
全 体		1,202	846	242	73	13	28
		100.0	70.4	20.1	6.1	1.1	2.3
問 1 0	道路の整備	583	396	134	32	4	17
		100.0	67.9	23.0	5.5	0.7	2.9
良 く な っ た 点	日常の買い物や雇用などの商工業	172	113	45	8	1	5
		100.0	65.7	26.2	4.7	0.6	2.9
	バスやタクシーの利便性	82	57	15	5	3	2
		100.0	69.5	18.3	6.1	3.7	2.4
	公園・広場の整備	133	91	24	11	2	5
		100.0	68.4	18.0	8.3	1.5	3.8
	インターネット・ケーブルテレビなど情報基盤の整備	280	196	62	13	4	5
		100.0	70.0	22.1	4.6	1.4	1.8
	水道や下水道の整備	381	276	72	22	6	5
		100.0	72.4	18.9	5.8	1.6	1.3
	公害防止や自然景観の保全への取り組み	59	45	10	4	0	0
		100.0	76.3	16.9	6.8	0.0	0.0
	ごみ処理やリサイクル、省エネへの取り組み	547	412	99	21	5	10
		100.0	75.3	18.1	3.8	0.9	1.8
	防犯・防災・交通安全への対策	79	59	11	6	2	1
		100.0	74.7	13.9	7.6	2.5	1.3
	子育て支援への取り組み	114	84	23	6	0	1
		100.0	73.7	20.2	5.3	0.0	0.9
	福祉・医療・健康づくり活動の充実	135	110	17	4	1	3
		100.0	81.5	12.6	3.0	0.7	2.2
	地産地消や農地の活用などの農業	125	83	27	11	1	3
		100.0	66.4	21.6	8.8	0.8	2.4
	スポーツ活動や施設整備	171	110	49	10	0	2
		100.0	64.3	28.7	5.8	0.0	1.2
	学校教育	18	14	4	0	0	0
		100.0	77.8	22.2	0.0	0.0	0.0
	生涯学習・芸術・文化活動	88	63	17	5	0	3
		100.0	71.6	19.3	5.7	0.0	3.4
	町内会や自治会の活動・ボランティア活動	56	45	7	4	0	0
		100.0	80.4	12.5	7.1	0.0	0.0
	市の行政情報の提供や窓口サービス	75	51	16	3	2	3
		100.0	68.0	21.3	4.0	2.7	4.0
	その他	2	1	1	0	0	0
		100.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	無回答	104	73	14	11	1	5
		100.0	70.2	13.5	10.6	1.0	4.8

(4) 市政への関心度

問4 あなたは、市政にどの程度関心をもっていますか。次の項目のなかから1つを選んでください。

市政への関心については、「関心がある」が40.3%、「やや関心がある」が38.9%で、合わせると8割強の80.2%が市政に関心をもっていると見ることができる。一方、「あまり関心がない」は15.7%、「関心がない」は3.0%である。

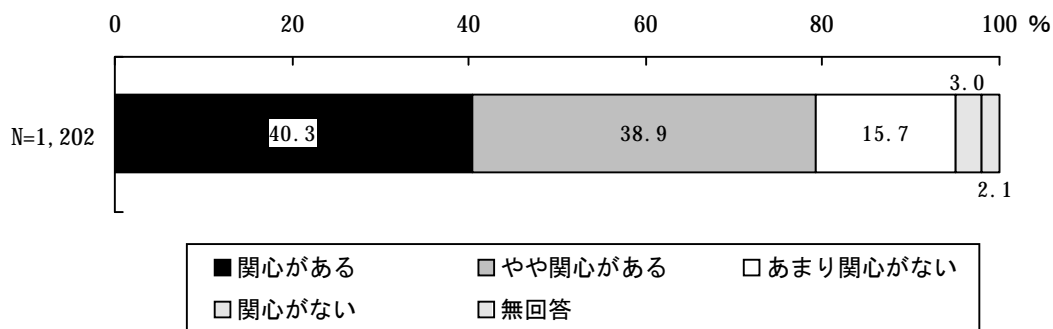


図7 市政への関心度

属性別で見た場合、“性別”では、「男性」の方が「関心がある」に示す割合が「女性」より16ポイント高くなっている。“年齢別”では、年齢が高い人ほど関心の度合いが高くなっている。

また、“居住地別”で見ると、「秦地区」、「神在地区」、「下倉地区」では「関心がある」（「関心がある」と「やや関心がある」）に示す割合が9割強であるのに対し、「山手地区」では71.3%と、関心度が最も低くなっている。

表9 属性別に見た市政への関心度

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
全 体		1,202 100.0	485 40.3	467 38.9	189 15.7	36 3.0	25 2.1
性別	男性	457 100.0	232 50.8	144 31.5	64 14.0	16 3.5	1 0.2
	女性	712 100.0	247 34.7	322 45.2	124 17.4	18 2.5	1 0.1
	無回答	33 100.0	6 18.2	1 3.0	1 3.0	2 6.1	23 69.7
年齢	20～29歳	73 100.0	13 17.8	24 32.9	28 38.4	8 11.0	0 0.0
	30～39歳	104 100.0	18 17.3	44 42.3	33 31.7	9 8.7	0 0.0
	40～49歳	135 100.0	43 31.9	57 42.2	30 22.2	5 3.7	0 0.0
	50～59歳	230 100.0	85 37.0	103 44.8	38 16.5	4 1.7	0 0.0
	60～69歳	299 100.0	151 50.5	115 38.5	27 9.0	6 2.0	0 0.0
	70歳以上	333 100.0	173 52.0	123 36.9	32 9.6	3 0.9	2 0.6
	無回答	28 100.0	2 7.1	1 3.6	1 3.6	1 3.6	23 82.1
	居住地	総社地区	418 100.0	177 42.3	161 38.5	69 16.5	10 2.4
常盤地区		138 100.0	64 46.4	52 37.7	18 13.0	4 2.9	0 0.0
三須地区		48 100.0	16 33.3	23 47.9	7 14.6	2 4.2	0 0.0
服部地区		44 100.0	15 34.1	23 52.3	5 11.4	1 2.3	0 0.0
阿曾地区		54 100.0	20 37.0	24 44.4	7 13.0	3 5.6	0 0.0
池田地区		36 100.0	12 33.3	15 41.7	7 19.4	1 2.8	1 2.8
秦地区		40 100.0	21 52.5	16 40.0	2 5.0	1 2.5	0 0.0
神在地区		38 100.0	20 52.6	16 42.1	2 5.3	0 0.0	0 0.0
久代地区		52 100.0	17 32.7	22 42.3	12 23.1	1 1.9	0 0.0
山田地区		18 100.0	7 38.9	7 38.9	1 5.6	3 16.7	0 0.0
新本地区		27 100.0	11 40.7	10 37.0	6 22.2	0 0.0	0 0.0
日美地区		41 100.0	19 46.3	15 36.6	7 17.1	0 0.0	0 0.0
水内地区		18 100.0	8 44.4	6 33.3	3 16.7	1 5.6	0 0.0
下倉地区		12 100.0	7 58.3	4 33.3	1 8.3	0 0.0	0 0.0
富山地区		6 100.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0
山手地区		74 100.0	25 33.8	28 37.8	16 21.6	5 6.8	0 0.0
清音地区		106 100.0	41 38.7	42 39.6	21 19.8	2 1.9	0 0.0
無回答		32 100.0	2 6.3	1 3.1	4 12.5	2 6.3	23 71.9



郷土愛から市政への関心度を見ると、「感じる」で、「関心がある」が**58.6%**で最も高くなっている。また、「どちらかといえば感じる」では、「やや関心がある」が**48.0%**で高く、次いで「関心がある」が**31.6%**となっている。これに対し、「どちらかといえば感じない」では、「あまり関心がない」が、**36.2%**、「やや関心がある」が、**35.9%**となっている。

表 10 郷土愛から見た市政への関心度

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
全体		1,202 100.0	485 40.3	467 38.9	189 15.7	36 3.0	25 2.1
問1 郷土愛	感じる	469 100.0	275 58.6	158 33.7	28 6.0	7 1.5	1 0.2
	どちらかといえば感じる	490 100.0	155 31.6	235 48.0	88 18.0	11 2.2	1 0.2
	どちらかといえば感じない	163 100.0	39 23.9	57 35.0	59 36.2	8 4.9	0 0.0
	感じない	53 100.0	15 28.3	15 28.3	13 24.5	10 18.9	0 0.0
	無回答	27 100.0	1 3.7	2 7.4	1 3.7	0 0.0	23 85.2

住みやすさから見た市政への関心度では、「たいへん住みよい」で「関心がある」が**54.9%**、「やや関心がある」が**34.2%**となっている。これに対し、「普通」では、「やや関心がある」が**43.0%**、「関心がある」が**33.9%**となっている。

表 11 住みやすさから見た市政への関心度

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
全体		1,202 100.0	485 40.3	467 38.9	189 15.7	36 3.0	25 2.1
問2 住みやすさ	たいへん住みよい	237 100.0	130 54.9	81 34.2	21 8.9	5 2.1	0 0.0
	どちらかといえば、住みよい	407 100.0	169 41.5	167 41.0	61 15.0	10 2.5	0 0.0
	普通	454 100.0	154 33.9	195 43.0	91 20.0	12 2.6	2 0.4
	住みにくい	73 100.0	29 39.7	22 30.1	14 19.2	8 11.0	0 0.0
	非常に住みにくい	8 100.0	3 37.5	2 25.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0
	無回答	23 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	23 100.0

居住意向から市政への関心度を見ると、全体としては、「ずっと住み続けたい」の「関心がある」が、**46.9%**で最も高い。「当分の間住みたい」では、「やや関心がある」が**45.0%**、「関心がある」が、**25.2%**であったのに対し、「できれば他の市町村に転出したい」では、「あまり関心がない」が、**35.6%**、「やや関心がある」が、**28.8%**となっている。

表 12 居留意向から見た市政への関心度

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
全 体		1,202 100.0	485 40.3	467 38.9	189 15.7	36 3.0	25 2.1
問 3 居 住 意 向	ずっと住み続けたい	846 100.0	397 46.9	333 39.4	99 11.7	15 1.8	2 0.2
	当分の間住みたい	242 100.0	61 25.2	109 45.0	59 24.4	13 5.4	0 0.0
	できれば他の市町村に転出したい	73 100.0	20 27.4	21 28.8	26 35.6	6 8.2	0 0.0
	他の市町村に転出したい	13 100.0	6 46.2	2 15.4	3 23.1	2 15.4	0 0.0
	無回答	28 100.0	1 3.6	2 7.1	2 7.1	0 0.0	23 82.1

良くなったと感じることから見た市政への関心度では、全体として大きな特徴は見られないが、「子育て支援への取り組み」で、「関心がある」が、50.0%となっている。

表 13 良くなったと感じることから見た市政への関心度

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	無回答
全 体		1,202 100.0	485 40.3	467 38.9	189 15.7	36 3.0	25 2.1
問 1 0 良 く な っ た 点	道路の整備	583 100.0	210 36.0	238 40.8	107 18.4	13 2.2	15 2.6
	日常の買い物や雇用などの商工業	172 100.0	51 29.7	71 41.3	39 22.7	7 4.1	4 2.3
	バスやタクシーの利便性	82 100.0	36 43.9	28 34.1	15 18.3	1 1.2	2 2.4
	公園・広場の整備	133 100.0	60 45.1	46 34.6	20 15.0	4 3.0	3 2.3
	インターネット・ケーブルテレビなど情報基盤の整備	280 100.0	102 36.4	120 42.9	41 14.6	13 4.6	4 1.4
	水道や下水道の整備	381 100.0	170 44.6	155 40.7	47 12.3	4 1.0	5 1.3
	公害防止や自然景観の保全への取り組み	59 100.0	34 57.6	17 28.8	8 13.6	0 0.0	0 0.0
	ごみ処理やリサイクル、省エネへの取り組み	547 100.0	221 40.4	226 41.3	82 15.0	9 1.6	9 1.6
	防犯・防災・交通安全への対策	79 100.0	32 40.5	34 43.0	10 12.7	2 2.5	1 1.3
	子育て支援への取り組み	114 100.0	57 50.0	42 36.8	11 9.6	3 2.6	1 0.9
	福祉・医療・健康づくり活動の充実	135 100.0	57 42.2	56 41.5	17 12.6	2 1.5	3 2.2
	地産地消や農地の活用などの農業	125 100.0	47 37.6	52 41.6	18 14.4	4 3.2	4 3.2
	スポーツ活動や施設整備	171 100.0	63 36.8	70 40.9	33 19.3	4 2.3	1 0.6
	学校教育	18 100.0	6 33.3	10 55.6	2 11.1	0 0.0	0 0.0
	生涯学習・芸術・文化活動	88 100.0	37 42.0	32 36.4	14 15.9	1 1.1	4 4.5
	町内会や自治会の活動・ボランティア活動	56 100.0	30 53.6	18 32.1	8 14.3	0 0.0	0 0.0
	市の行政情報の提供や窓口サービス	75 100.0	35 46.7	23 30.7	12 16.0	2 2.7	3 4.0
	その他	2 100.0	1 50.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	104 100.0	45 43.3	30 28.8	15 14.4	10 9.6	4 3.8

(5) 行政サービスへの満足度

問5 あなたは、市の行っている行政サービスの水準は、地域社会や経済の情勢からみて、満足できるものだと思いますか。次の項目のなかから1つ選んでください。

行政サービスへの満足度については、「どちらかというと、満足できる」が42.6%で最も高く、「満足できる」(4.3%)と合わせると、ほぼ半数の46.9%が満足としている。

一方、「どちらかというと、満足できない」は39.9%、「満足できない」が10.2%で、両者を合わせると50.1%となり、やや満足できないとする人の方が多くなっている。

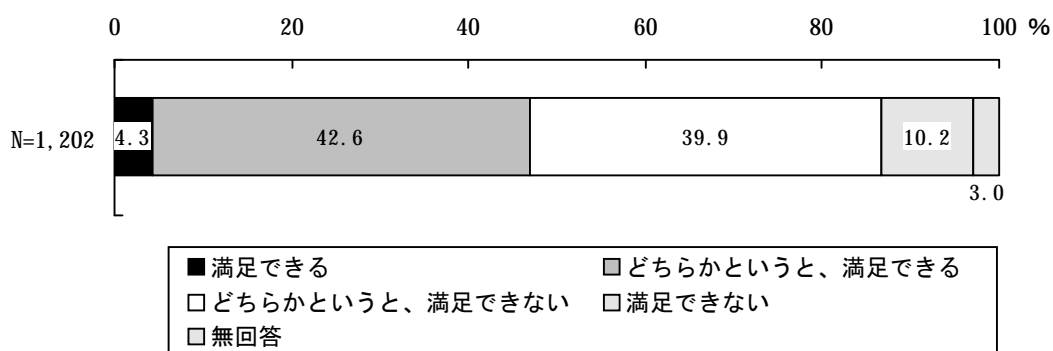


図8 行政サービスの満足度

属性別で見ると、“性別”では相違は見られないが、“年齢別”では、「70歳以上」で「満足できる」（「満足できる」と「どちらかという、満足できる」）に示す割合が高く57.3%であるのに対し、「20～29歳」においては同割合が38.4%と低く、両者で20ポイント近い開きが見られる。

“居住地別”で見た場合、「山田地区」では、「満足できる」が61.1%で最も高く、一方、「富山地区」においては、同割合が最も低く16.7%である。しかし、両地区ともサンプル数は少ないため、一概に結論づけることはできない。

表 14 属性別に見た行政サービスの満足度

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	満足できる	どちらかという、満足できる	どちらかという、満足できない	満足できない	無回答
全 体		1,202 100.0	52 4.3	512 42.6	479 39.9	123 10.2	36 3.0
性別	男性	457 100.0	20 4.4	190 41.6	178 38.9	64 14.0	5 1.1
	女性	712 100.0	31 4.4	319 44.8	299 42.0	55 7.7	8 1.1
	無回答	33 100.0	1 3.0	3 9.1	2 6.1	4 12.1	23 69.7
年齢	20～29歳	73 100.0	0 0.0	28 38.4	33 45.2	12 16.4	0 0.0
	30～39歳	104 100.0	1 1.0	48 46.2	40 38.5	15 14.4	0 0.0
	40～49歳	135 100.0	7 5.2	52 38.5	59 43.7	16 11.9	1 0.7
	50～59歳	230 100.0	3 1.3	98 42.6	101 43.9	26 11.3	2 0.9
	60～69歳	299 100.0	8 2.7	126 42.1	136 45.5	29 9.7	0 0.0
	70歳以上	333 100.0	33 9.9	158 47.4	108 32.4	24 7.2	10 3.0
	無回答	28 100.0	0 0.0	2 7.1	2 7.1	1 3.6	23 82.1
	居住地	総社地区	418 100.0	28 6.7	184 44.0	168 40.2	33 7.9
常盤地区		138 100.0	7 5.1	62 44.9	58 42.0	10 7.2	1 0.7
三須地区		48 100.0	1 2.1	23 47.9	19 39.6	3 6.3	2 4.2
服部地区		44 100.0	2 4.5	23 52.3	14 31.8	5 11.4	0 0.0
阿曾地区		54 100.0	0 0.0	30 55.6	19 35.2	5 9.3	0 0.0
池田地区		36 100.0	0 0.0	17 47.2	17 47.2	2 5.6	0 0.0
秦地区		40 100.0	1 2.5	16 40.0	20 50.0	3 7.5	0 0.0
神在地区		38 100.0	1 2.6	19 50.0	12 31.6	4 10.5	2 5.3
久代地区		52 100.0	1 1.9	24 46.2	21 40.4	6 11.5	0 0.0
山田地区		18 100.0	3 16.7	8 44.4	4 22.2	3 16.7	0 0.0
新本地区		27 100.0	1 3.7	14 51.9	9 33.3	2 7.4	1 3.7
日美地区		41 100.0	2 4.9	19 46.3	11 26.8	8 19.5	1 2.4
水内地区		18 100.0	1 5.6	5 27.8	10 55.6	2 11.1	0 0.0
下倉地区		12 100.0	2 16.7	5 41.7	5 41.7	0 0.0	0 0.0
富山地区		6 100.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	3 50.0	0 0.0
山手地区		74 100.0	1 1.4	26 35.1	34 45.9	13 17.6	0 0.0
清音地区		106 100.0	1 0.9	33 31.1	53 50.0	18 17.0	1 0.9
無回答		32 100.0	0 0.0	3 9.4	3 9.4	3 9.4	23 71.9

郷土愛から行政サービスへの満足度を見ると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」で、「どちらかというと、満足できる」が、それぞれ 49.0%、47.6%で最も高くなっている。これに対し、「どちらかといえば感じない」では、「どちらかというと、満足できない」が、58.9%が高く、「どちらかといえば、満足できる」は、22.7%となっている。

表 15 郷土愛から見た行政サービスへの満足度

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	満足できる	どちらかという と、満足できる	どちらかという と、満足できない	満足できない	無回答
全体		1,202 100.0	52 4.3	512 42.6	479 39.9	123 10.2	36 3.0
問 1 郷 土 愛	感じる	469 100.0	46 9.8	230 49.0	152 32.4	36 7.7	5 1.1
	どちらかといえば感じる	490 100.0	6 1.2	233 47.6	213 43.5	34 6.9	4 0.8
	どちらかといえば感じない	163 100.0	0 0.0	37 22.7	96 58.9	29 17.8	1 0.6
	感じない	53 100.0	0 0.0	11 20.8	18 34.0	24 45.3	0 0.0
	無回答	27 100.0	0 0.0	1 3.7	0 0.0	0 0.0	26 96.3

住みやすさから行政サービスの満足度を見ると、「どちらかといえば、住みよい」で、「どちらかというと、満足できる」が、53.1%で最も高く、「たいへん住みよい」では、51.5%となっている。これに対し、住みやすさが「普通」では、「どちらかというと、満足できない」が、50.0%、「どちらかというと、満足できる」が、36.3%となっている。

表 16 住みやすさから見た行政サービスへの満足度

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	満足できる	どちらかという と、満足できる	どちらかという と、満足できない	満足できない	無回答
全体		1,202 100.0	52 4.3	512 42.6	479 39.9	123 10.2	36 3.0
問 2 住 み やす さ	たいへん住みよい	237 100.0	36 15.2	122 51.5	66 27.8	11 4.6	2 0.8
	どちらかといえば、住みよい	407 100.0	8 2.0	216 53.1	153 37.6	25 6.1	5 1.2
	普通	454 100.0	8 1.8	165 36.3	227 50.0	50 11.0	4 0.9
	住みにくい	73 100.0	0 0.0	8 11.0	31 42.5	33 45.2	1 1.4
	非常に住みにくい	8 100.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	4 50.0	1 12.5
	無回答	23 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	23 100.0

居留意向から行政サービスの満足度を見ると、「当分の間住みたい」で、「どちらかというと、満足できない」が、51.7%で最も高く、次いで「どちらかというと、満足できる」が、35.1%になっているのに対し、「ずっと住み続けたい」では、「どちらかというと、満足できる」が、48.5%、「どちらかというと、満足できない」が、37.4%となっている。

表 17 居住意向から見た行政サービスへの満足度

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	満足できる	どちらかという と、満足できる	どちらかという と、満足できない	満足できない	無回答
全 体		1,202	52	512	479	123	36
		100.0	4.3	42.6	39.9	10.2	3.0
問 3 居 住 意 向	ずっと住み続けたい	846	52	410	316	58	10
		100.0	6.1	48.5	37.4	6.9	1.2
	当分の間住みたい	242	0	85	125	31	1
		100.0	0.0	35.1	51.7	12.8	0.4
	できれば他の市町村に転出したい	73	0	12	36	25	0
		100.0	0.0	16.4	49.3	34.2	0.0
他の市町村に転出したい	13	0	2	2	8	1	
	100.0	0.0	15.4	15.4	61.5	7.7	
無回答	28	0	3	0	1	24	
	100.0	0.0	10.7	0.0	3.6	85.7	

良くなったと感じることから見た行政サービスへの満足度では、「福祉・医療・健康づくり活動の充実」で、「どちらかという、満足できる」が、**54.8%**と比較的高くなっている。また、「生涯活動・芸術・文化活動」と「スポーツ活動と施設整備」で、「どちらかという、満足できない」が、それぞれ**48.9%**、**48.5%**と比較的高い割合を示しているのに対し、「福祉・医療・健康づくり活動の充実」で、「どちらかという、満足でない」が、**26.7%**と低くなっている。

表 18 良くなったと感じることから見た行政サービスへの満足度

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	満足できる	どちらかという と、満足できる	どちらかという と、満足できない	満足できない	無回答
全 体		1,202	52	512	479	123	36
		100.0	4.3	42.6	39.9	10.2	3.0
問 1 0 良 く な っ た 点	道路の整備	583	28	267	228	43	17
		100.0	4.8	45.8	39.1	7.4	2.9
	日常の買い物や雇用などの商工業	172	6	77	66	19	4
		100.0	3.5	44.8	38.4	11.0	2.3
	バスやタクシーの利便性	82	7	38	31	2	4
		100.0	8.5	46.3	37.8	2.4	4.9
	公園・広場の整備	133	10	61	43	13	6
		100.0	7.5	45.9	32.3	9.8	4.5
	インターネット・ケーブルテレビなど情報基盤の整備	280	12	112	117	33	6
		100.0	4.3	40.0	41.8	11.8	2.1
	水道や下水道の整備	381	19	152	167	34	9
		100.0	5.0	39.9	43.8	8.9	2.4
	公害防止や自然景観の保全への取り組み	59	0	31	22	6	0
		100.0	0.0	52.5	37.3	10.2	0.0
	ごみ処理やリサイクル、省エネへの取り組み	547	22	271	205	35	14
		100.0	4.0	49.5	37.5	6.4	2.6
	防犯・防災・交通安全への対策	79	4	33	35	6	1
		100.0	5.1	41.8	44.3	7.6	1.3
	子育て支援への取り組み	114	4	53	44	11	2
		100.0	3.5	46.5	38.6	9.6	1.8
	福祉・医療・健康づくり活動の充実	135	10	74	36	12	3
		100.0	7.4	54.8	26.7	8.9	2.2
	地産地消や農地の活用などの農業	125	3	51	55	12	4
		100.0	2.4	40.8	44.0	9.6	3.2
	スポーツ活動や施設整備	171	6	64	83	14	4
		100.0	3.5	37.4	48.5	8.2	2.3
	学校教育	18	0	12	3	3	0
	100.0	0.0	66.7	16.7	16.7	0.0	
生涯学習・芸術・文化活動	88	3	34	43	4	4	
	100.0	3.4	38.6	48.9	4.5	4.5	
町内会や自治会の活動・ボランティア活動	56	1	28	21	5	1	
	100.0	1.8	50.0	37.5	8.9	1.8	
市の行政情報の提供や窓口サービス	75	6	37	25	4	3	
	100.0	8.0	49.3	33.3	5.3	4.0	
その他	2	0	0	1	1	0	
	100.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	
無回答	104	4	29	40	25	6	
	100.0	3.8	27.9	38.5	24.0	5.8	

(6) 地域情報の入手手段（複数回答）

問6 あなたは、市民生活に必要な地域の情報を何で知りますか。次の項目のなかから2つ選んでください。

市民生活に必要な情報の入手手段については、「広報そうじゃ」が84.6%で最も高く、第二位が「新聞、テレビの地域ニュース」(42.1%)となっている。続いて、「自治会などの回覧板」(27.0%)、「友人・知人の話から」(20.3%)、「ケーブルテレビ」(10.1%)、「公共施設などの窓口に置いてあるチラシやポスター」(4.1%)、「市のホームページ」(3.9%)、「その他」(1.7%)の順である。

なお、「その他」には、“有線放送”、“家族に聞く”、“チラシや掲示板”等があげられている。

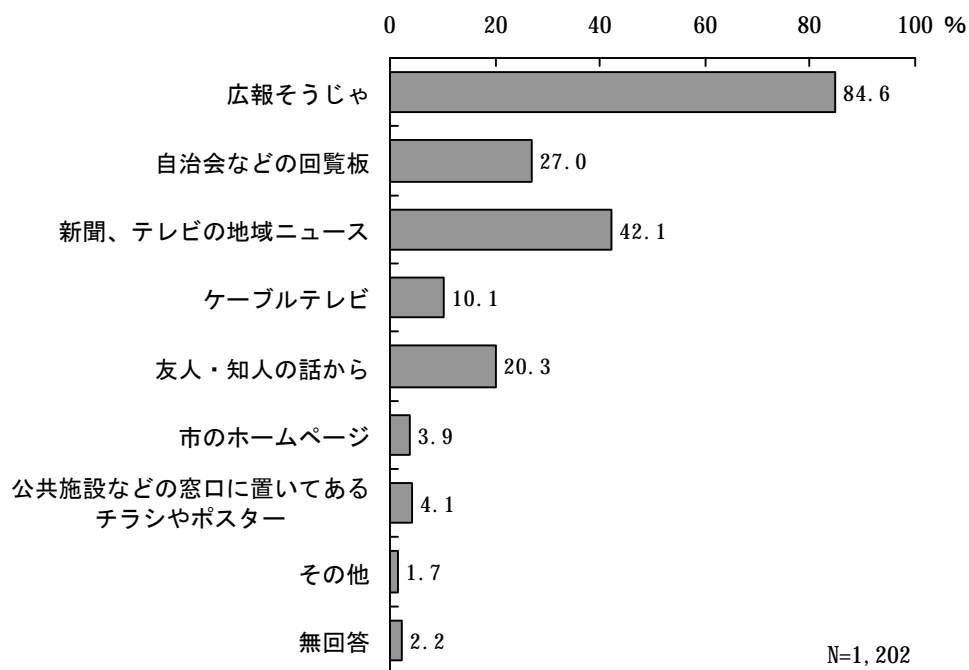


図9 地域情報の入手経路

属性別で見ると、“性別”では大きな相違は見られないが、“年齢別”では、「20～29歳」において「広報そうじゃ」が58.9%と全体と比べて低いのに対し、「新聞、テレビの地域ニュース」が同率の58.9%を示し、高くなっている。

「居住地別」で見た場合、「久代地区」および、「新本地区」では、「ケーブルテレビ」に示す割合が全体の10.1%に比べて、それぞれ28.8%、33.3%と高くなっている。

表 19 属性別に見た地域情報の入手経路

(上段：件数、下段：%)

区分	全体	広報そうじゃ	自治会などの回覧板	新聞、テレビの地域ニュース	ケーブルテレビ	友人・知人の話から	市のホームページ	公共施設などの窓口に置いてある	その他	無回答	
全体	1,202 —	1,017 84.6	325 27.0	506 42.1	122 10.1	244 20.3	47 3.9	49 4.1	20 1.7	26 2.2	
性別	男性	457 —	372 81.4	112 24.5	217 47.5	60 13.1	96 21.0	25 5.5	16 3.5	9 2.0	1 0.2
	女性	712 —	637 89.5	211 29.6	283 39.7	62 8.7	145 20.4	22 3.1	33 4.6	11 1.5	2 0.3
	無回答	33 —	8 24.2	2 6.1	6 18.2	0 0.0	3 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	23 69.7
年齢	20～29歳	73 —	43 58.9	11 15.1	43 58.9	7 9.6	24 32.9	6 8.2	7 9.6	4 5.5	0 0.0
	30～39歳	104 —	86 82.7	28 26.9	42 40.4	11 10.6	24 23.1	2 1.9	8 7.7	2 1.9	0 0.0
	40～49歳	135 —	115 85.2	46 34.1	45 33.3	15 11.1	29 21.5	5 3.7	8 5.9	5 3.7	0 0.0
	50～59歳	230 —	210 91.3	80 34.8	76 33.0	19 8.3	44 19.1	13 5.7	13 5.7	3 1.3	0 0.0
	60～69歳	299 —	262 87.6	88 29.4	127 42.5	41 13.7	57 19.1	9 3.0	7 2.3	2 0.7	0 0.0
	70歳以上	333 —	296 88.9	71 21.3	170 51.1	29 8.7	66 19.8	12 3.6	6 1.8	4 1.2	3 0.9
	無回答	28 —	5 17.9	1 3.6	3 10.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	23 82.1
	居住地	総社地区	418 —	372 89.0	120 28.7	168 40.2	39 9.3	77 18.4	20 4.8	23 5.5	6 1.4
常盤地区		138 —	125 90.6	44 31.9	61 44.2	14 10.1	22 15.9	2 1.4	5 3.6	0 0.0	0 0.0
三須地区		48 —	41 85.4	14 29.2	21 43.8	6 12.5	9 18.8	3 6.3	2 4.2	0 0.0	0 0.0
服部地区		44 —	38 86.4	7 15.9	19 43.2	4 9.1	15 34.1	1 2.3	2 4.5	2 4.5	0 0.0
阿曾地区		54 —	48 88.9	18 33.3	21 38.9	3 5.6	15 27.8	1 1.9	2 3.7	0 0.0	0 0.0
池田地区		36 —	33 91.7	4 11.1	24 66.7	0 0.0	5 13.9	2 5.6	1 2.8	0 0.0	0 0.0
秦地区		40 —	34 85.0	11 27.5	20 50.0	7 17.5	7 17.5	1 2.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0
神在地区		38 —	32 84.2	9 23.7	16 42.1	7 18.4	6 15.8	2 5.3	2 5.3	2 5.3	0 0.0
久代地区		52 —	38 73.1	10 19.2	25 48.1	15 28.8	12 23.1	3 5.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0
山田地区		18 —	16 88.9	7 38.9	5 27.8	4 22.2	2 11.1	0 0.0	1 5.6	1 5.6	0 0.0
新本地区		27 —	19 70.4	3 11.1	12 44.4	9 33.3	4 14.8	1 3.7	3 11.1	1 3.7	0 0.0
日美地区		41 —	36 87.8	13 31.7	13 31.7	4 9.8	11 26.8	3 7.3	1 2.4	0 0.0	0 0.0
水内地区		18 —	17 94.4	1 5.6	7 38.9	4 22.2	7 38.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
下倉地区		12 —	12 100.0	4 33.3	5 41.7	0 0.0	2 16.7	0 0.0	1 8.3	0 0.0	0 0.0
富山地区		6 —	4 66.7	2 33.3	4 66.7	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
山手地区		74 —	57 77.0	17 23.0	34 45.9	2 2.7	22 29.7	4 5.4	4 5.4	5 6.8	0 0.0
清音地区		106 —	88 83.0	40 37.7	45 42.5	3 2.8	25 23.6	4 3.8	2 1.9	2 1.9	0 0.0
無回答		32 —	7 21.9	1 3.1	6 18.8	1 3.1	1 3.1	0 0.0	0 0.0	1 3.1	23 71.9



(7) 将来の地域活動に対する不安の有無

問7 あなたは、少子高齢社会を迎え、子どもが少なく高齢者が多くなる年代構成の現代、将来の町内会活動やコミュニティ活動に不安を感じたことがありますか。次の項目の中から1つ選んでください。

将来の町内活動やコミュニティ活動について、不安を感じたことが「ある」は 69.3%で約7割となっている。「ない」は 13.1%、「わからない」は 16.9%である。

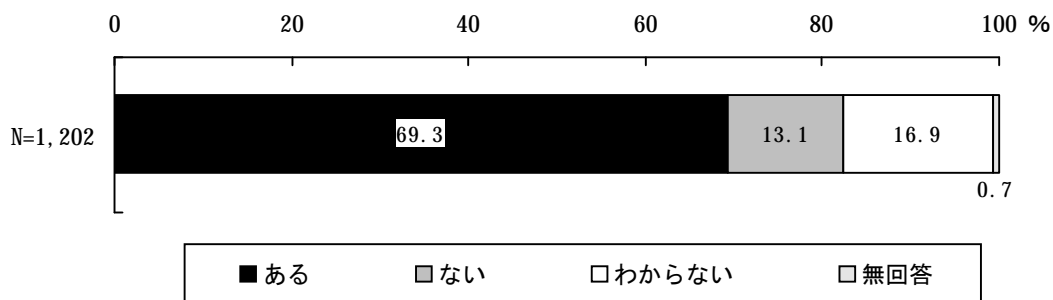


図 10 将来の地域活動に対する不安の有無

属性別で見ると、“性別”では、大差ではないが「女性」の方が不安を感じている人がやや多くなっている。“年齢別”においては、年齢が高くなるほど不安感は増している。

また、“居住地別”では、「下倉地区」(91.7%)、「池田地区」(83.3%)、「日美地区」(78.0%)、「山田地区」(77.8%)、「水内地区」(77.8%)、「秦地区」(77.5%)、「久我地区」(75.0%)の順で不安が「ある」に示す割合が高くなっている。最も「ある」の割合が低いのは、「山手地区」の60.8%である。

表 20 属性別に見た将来の地域活動に対する不安の有無

(上段：件数、下段：%)

区分	全体	ある	ない	わからない	無回答	
全 体	1,202 100.0	833 69.3	158 13.1	203 16.9	8 0.7	
性別	男性	457 100.0	310 67.8	72 15.8	72 15.8	3 0.7
	女性	712 100.0	498 69.9	83 11.7	127 17.8	4 0.6
	無回答	33 100.0	25 75.8	3 9.1	4 12.1	1 3.0
年齢	20～29歳	73 100.0	33 45.2	10 13.7	29 39.7	1 1.4
	30～39歳	104 100.0	58 55.8	16 15.4	30 28.8	0 0.0
	40～49歳	135 100.0	91 67.4	21 15.6	23 17.0	0 0.0
	50～59歳	230 100.0	173 75.2	18 7.8	39 17.0	0 0.0
	60～69歳	299 100.0	219 73.2	43 14.4	36 12.0	1 0.3
	70歳以上	333 100.0	239 71.8	47 14.1	42 12.6	5 1.5
	無回答	28 100.0	20 71.4	3 10.7	4 14.3	1 3.6
	居住地	総社地区	418 100.0	284 67.9	68 16.3	64 15.3
常盤地区		138 100.0	96 69.6	17 12.3	25 18.1	0 0.0
三須地区		48 100.0	31 64.6	7 14.6	10 20.8	0 0.0
服部地区		44 100.0	30 68.2	5 11.4	9 20.5	0 0.0
阿曾地区		54 100.0	37 68.5	7 13.0	10 18.5	0 0.0
池田地区		36 100.0	30 83.3	4 11.1	2 5.6	0 0.0
秦地区		40 100.0	31 77.5	2 5.0	5 12.5	2 5.0
神在地区		38 100.0	26 68.4	7 18.4	4 10.5	1 2.6
久代地区		52 100.0	39 75.0	5 9.6	8 15.4	0 0.0
山田地区		18 100.0	14 77.8	1 5.6	3 16.7	0 0.0
新本地区		27 100.0	18 66.7	4 14.8	5 18.5	0 0.0
日美地区		41 100.0	32 78.0	2 4.9	5 12.2	2 4.9
水内地区		18 100.0	14 77.8	1 5.6	3 16.7	0 0.0
下倉地区		12 100.0	11 91.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0
富山地区		6 100.0	4 66.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0
山手地区		74 100.0	45 60.8	10 13.5	19 25.7	0 0.0
清音地区		106 100.0	68 64.2	13 12.3	25 23.6	0 0.0
無回答		32 100.0	23 71.9	3 9.4	5 15.6	1 3.1

(8) 地域活動への参加意向

問8 総社市では、現在、地域活動やボランティア活動などに参加することによる行政と市民による協働（パートナーシップ）のまちづくりを進めています。あなたは、こうした活動に参加することについてどのように考えますか。次の項目のなかから1つを選んでください。

地域活動やボランティア活動などへの参加については、「できるかぎり参加したい」が57.3%で最も多くなっている。「積極的に参加したい」は5.1%であり、合わせると62.4%で、6割強の住民が参加意向を示している。

一方、「どちらかといえば参加したくない」は25.4%、「参加しない」は11.1%となっている。

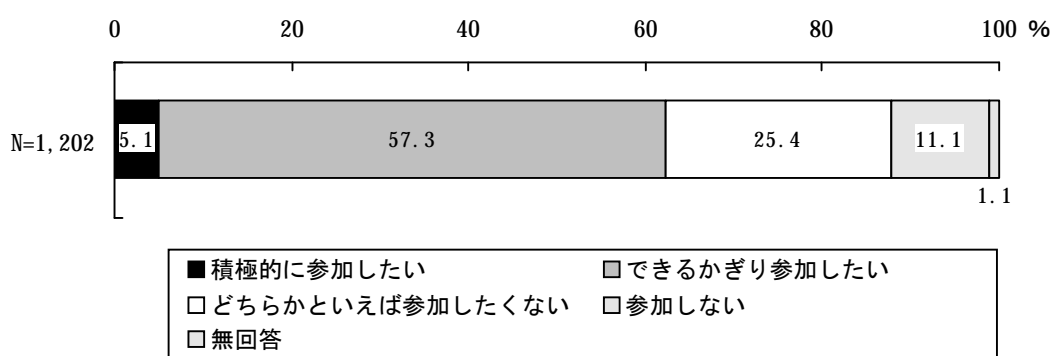


図 11 地域活動への参加意向

属性別で見ると、“性別”での違いは見られないが、“年齢別”においては、年齢が高くなるほど参加意向（「積極的に参加したい」と「できるかぎり参加したい」）が高くなっている。

また、“居住地別”では、「新本地区」の参加意向が 44.4%とやや低くなっているが、他の地区での差異はほとんど見られない。

表 21 属性別に見た地域活動への参加意向

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	積極的に参加 したい	できるかぎり 参加したい	どちらかといえば 参加したくない	参加しない	無回答
全 体		1,202 100.0	61 5.1	689 57.3	305 25.4	134 11.1	13 1.1
性別	男性	457 100.0	23 5.0	257 56.2	126 27.6	48 10.5	3 0.7
	女性	712 100.0	36 5.1	409 57.4	174 24.4	84 11.8	9 1.3
	無回答	33 100.0	2 6.1	23 69.7	5 15.2	2 6.1	1 3.0
年齢	20～29歳	73 100.0	4 5.5	26 35.6	31 42.5	11 15.1	1 1.4
	30～39歳	104 100.0	4 3.8	44 42.3	41 39.4	14 13.5	1 1.0
	40～49歳	135 100.0	7 5.2	77 57.0	39 28.9	11 8.1	1 0.7
	50～59歳	230 100.0	15 6.5	137 59.6	56 24.3	20 8.7	2 0.9
	60～69歳	299 100.0	16 5.4	188 62.9	73 24.4	21 7.0	1 0.3
	70歳以上	333 100.0	13 3.9	198 59.5	60 18.0	56 16.8	6 1.8
	無回答	28 100.0	2 7.1	19 67.9	5 17.9	1 3.6	1 3.6
	居住地	総社地区	418 100.0	21 5.0	241 57.7	101 24.2	49 11.7
常盤地区		138 100.0	8 5.8	80 58.0	33 23.9	14 10.1	3 2.2
三須地区		48 100.0	0 0.0	29 60.4	12 25.0	7 14.6	0 0.0
服部地区		44 100.0	3 6.8	23 52.3	14 31.8	4 9.1	0 0.0
阿曾地区		54 100.0	2 3.7	35 64.8	11 20.4	6 11.1	0 0.0
池田地区		36 100.0	2 5.6	24 66.7	9 25.0	1 2.8	0 0.0
秦地区		40 100.0	2 5.0	23 57.5	9 22.5	5 12.5	1 2.5
神在地区		38 100.0	2 5.3	22 57.9	11 28.9	2 5.3	1 2.6
久代地区		52 100.0	5 9.6	30 57.7	11 21.2	6 11.5	0 0.0
山田地区		18 100.0	1 5.6	11 61.1	4 22.2	2 11.1	0 0.0
新本地区		27 100.0	2 7.4	10 37.0	10 37.0	5 18.5	0 0.0
日美地区		41 100.0	3 7.3	23 56.1	9 22.0	5 12.2	1 2.4
水内地区		18 100.0	1 5.6	10 55.6	3 16.7	4 22.2	0 0.0
下倉地区		12 100.0	0 0.0	12 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
富山地区		6 100.0	0 0.0	3 50.0	2 33.3	1 16.7	0 0.0
山手地区		74 100.0	2 2.7	35 47.3	23 31.1	14 18.9	0 0.0
清音地区		106 100.0	5 4.7	59 55.7	35 33.0	7 6.6	0 0.0
無回答		32 100.0	2 6.3	19 59.4	8 25.0	2 6.3	1 3.1

郷土愛から地域活動への参加意向を見ると、「感じる」と「どちらかといえば感じる」で、「できるかぎり参加したい」が、それぞれ63.5%、58.0%と高くなっている。また、「どちらかといえば感じない」では、「できるかぎり参加したい」が、46.0%、「どちらかといえば参加したくない」が、38.0%となっている。

表 22 郷土愛から見た地域活動への参加意向

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	積極的に参加したい	できるかぎり参加したい	どちらかといえば参加したくない	参加しない	無回答
全 体		1,202 100.0	61 5.1	689 57.3	305 25.4	134 11.1	13 1.1
問 1 郷 土 愛	感じる	469 100.0	33 7.0	298 63.5	90 19.2	45 9.6	3 0.6
	どちらかといえば感じる	490 100.0	18 3.7	284 58.0	130 26.5	51 10.4	7 1.4
	どちらかといえば感じない	163 100.0	6 3.7	75 46.0	62 38.0	19 11.7	1 0.6
	感じない	53 100.0	2 3.8	14 26.4	19 35.8	17 32.1	1 1.9
	無回答	27 100.0	2 7.4	18 66.7	4 14.8	2 7.4	1 3.7

(9) 協働のまちづくりを進める上で必要と思われる分野

問9 あなたは、どういった分野で行政と市民による協働のまちづくりを進めたら良いと思いますか。特に必要と思われる分野を、次の項目のなかから1つ選んでください。

行政と市民による協働のまちづくりを進める上で必要と思われる分野は、「保健福祉」が42.2%で最も高い割合を示している。次いで、「環境保護」(19.6%)、「教育」(17.6%)、「防災・防犯」(7.3%)、「イベント・まつり」(5.8%)、「子育て支援」(4.0%)、「その他」(2.1%)の順になっている。

なお、「その他」には、“どの項目も大切、1つ選ぶのは無理”(7件)、“行政と市民の交流の場づくり”(2件)等が見られた。

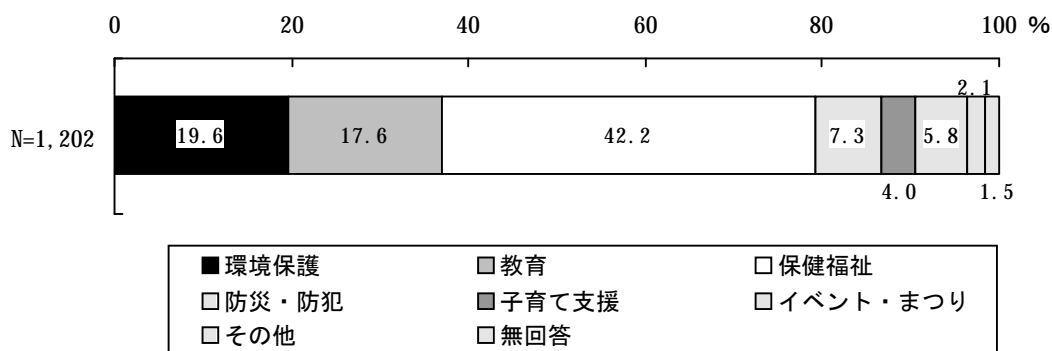


図 12 協働のまちづくりを進める上で必要と思われる必要な分野

属性別で見ると、“性別”では、「男性」の方が「教育」や「防災・犯罪」に関心が高くなっている。“年齢別”においては、年齢が高くなるほど「保健福祉」への関心が高く、「70歳以上」では56.8%となっている。

“地域別”では、「阿曾地区」および「新本地区」で「環境保護」に示す割合がともに29.6%なので、全体に比べ10ポイント高くなっている。一方、「下倉地区」では、「子育て支援」が25.0%、「富山地区」では、「防災・防犯」が33.3%で、両分野とも全体より20ポイント以上高くなっているが、両地区ともサンプル数が少なく、一概に傾向として見ることはできない。

表 23 属性別に見た協働のまちづくりを進める上で必要と思われる必要な分野

(上段：件数、下段：%)

区分	全体	環境保護	教育	保健福祉	防災・防犯	子育て支援	イベント・まつり	その他	無回答	
全体	1,202 100.0	235 19.6	211 17.6	507 42.2	88 7.3	48 4.0	70 5.8	25 2.1	18 1.5	
性別	男性	457 100.0	86 18.8	99 21.7	159 34.8	46 10.1	11 2.4	34 7.4	13 2.8	9 2.0
	女性	712 100.0	144 20.2	105 14.7	337 47.3	40 5.6	34 4.8	32 4.5	12 1.7	8 1.1
	無回答	33 100.0	5 15.2	7 21.2	11 33.3	2 6.1	3 9.1	4 12.1	0 0.0	1 3.0
年齢	20～29歳	73 100.0	15 20.5	19 26.0	14 19.2	2 2.7	10 13.7	10 13.7	2 2.7	1 1.4
	30～39歳	104 100.0	15 14.4	35 33.7	23 22.1	9 8.7	11 10.6	10 9.6	1 1.0	0 0.0
	40～49歳	135 100.0	30 22.2	37 27.4	43 31.9	7 5.2	6 4.4	7 5.2	4 3.0	1 0.7
	50～59歳	230 100.0	55 23.9	28 12.2	86 37.4	28 12.2	10 4.3	13 5.7	10 4.3	0 0.0
	60～69歳	299 100.0	67 22.4	39 13.0	142 47.5	20 6.7	3 1.0	17 5.7	5 1.7	6 2.0
	70歳以上	333 100.0	50 15.0	48 14.4	189 56.8	20 6.0	5 1.5	9 2.7	3 0.9	9 2.7
	無回答	28 100.0	3 10.7	5 17.9	10 35.7	2 7.1	3 10.7	4 14.3	0 0.0	1 3.6
	居住地	総社地区	418 100.0	85 20.3	85 20.3	163 39.0	32 7.7	17 4.1	22 5.3	8 1.9
常盤地区		138 100.0	28 20.3	24 17.4	59 42.8	10 7.2	5 3.6	6 4.3	3 2.2	3 2.2
三須地区		48 100.0	12 25.0	10 20.8	18 37.5	2 4.2	1 2.1	4 8.3	1 2.1	0 0.0
服部地区		44 100.0	8 18.2	5 11.4	22 50.0	5 11.4	0 0.0	2 4.5	2 4.5	0 0.0
阿曾地区		54 100.0	16 29.6	7 13.0	24 44.4	2 3.7	2 3.7	3 5.6	0 0.0	0 0.0
池田地区		36 100.0	8 22.2	6 16.7	15 41.7	3 8.3	1 2.8	1 2.8	1 2.8	1 2.8
秦地区		40 100.0	4 10.0	7 17.5	22 55.0	3 7.5	1 2.5	1 2.5	1 2.5	1 2.5
神在地区		38 100.0	4 10.5	7 18.4	15 39.5	2 5.3	2 5.3	7 18.4	0 0.0	1 2.6
久代地区		52 100.0	8 15.4	9 17.3	25 48.1	4 7.7	0 0.0	4 7.7	2 3.8	0 0.0
山田地区		18 100.0	3 16.7	3 16.7	9 50.0	1 5.6	0 0.0	2 11.1	0 0.0	0 0.0
新本地区		27 100.0	8 29.6	5 18.5	10 37.0	0 0.0	1 3.7	1 3.7	2 7.4	0 0.0
日美地区		41 100.0	7 17.1	3 7.3	20 48.8	3 7.3	2 4.9	3 7.3	1 2.4	2 4.9
水内地区		18 100.0	3 16.7	1 5.6	13 72.2	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
下倉地区		12 100.0	2 16.7	0 0.0	6 50.0	1 8.3	3 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
富山地区		6 100.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0
山手地区		74 100.0	9 12.2	13 17.6	31 41.9	7 9.5	6 8.1	5 6.8	1 1.4	2 2.7
清音地区		106 100.0	25 23.6	20 18.9	42 39.6	8 7.5	5 4.7	3 2.8	2 1.9	1 0.9
無回答		32 100.0	3 9.4	6 18.8	12 37.5	2 6.3	2 6.3	5 15.6	1 3.1	1 3.1

(10) 5年前と比較したくらしや生活環境（複数回答）

問10 あなたが、5年ぐらい前と比べて、くらしや生活環境など全体として良くなったと感じること、見直しや改善が必要と感じることを、次の項目のなかからそれぞれ3つ選んでください。

5年ぐらい前と比較したくらしや生活環境について、良くなったと感じることでは、「道路の整備」が48.5%、「ごみ処理やリサイクル、省エネへの取り組み」が45.5%で、第一位、二位にあげられている。続いて、「水道や下水道の整備」(31.7%)、「インターネット・ケーブルテレビなど情報基盤の整備」(23.3%)、「日常の買い物や雇用などの商工業」(14.3%)、「スポーツ活動や施設整備」(14.2%)、「福祉・医療・健康づくり活動の充実」(11.2%)、「公園・広場の整備」(11.1%)、「地産地消や農地の活用などの農業」(10.4%)の順になっている。

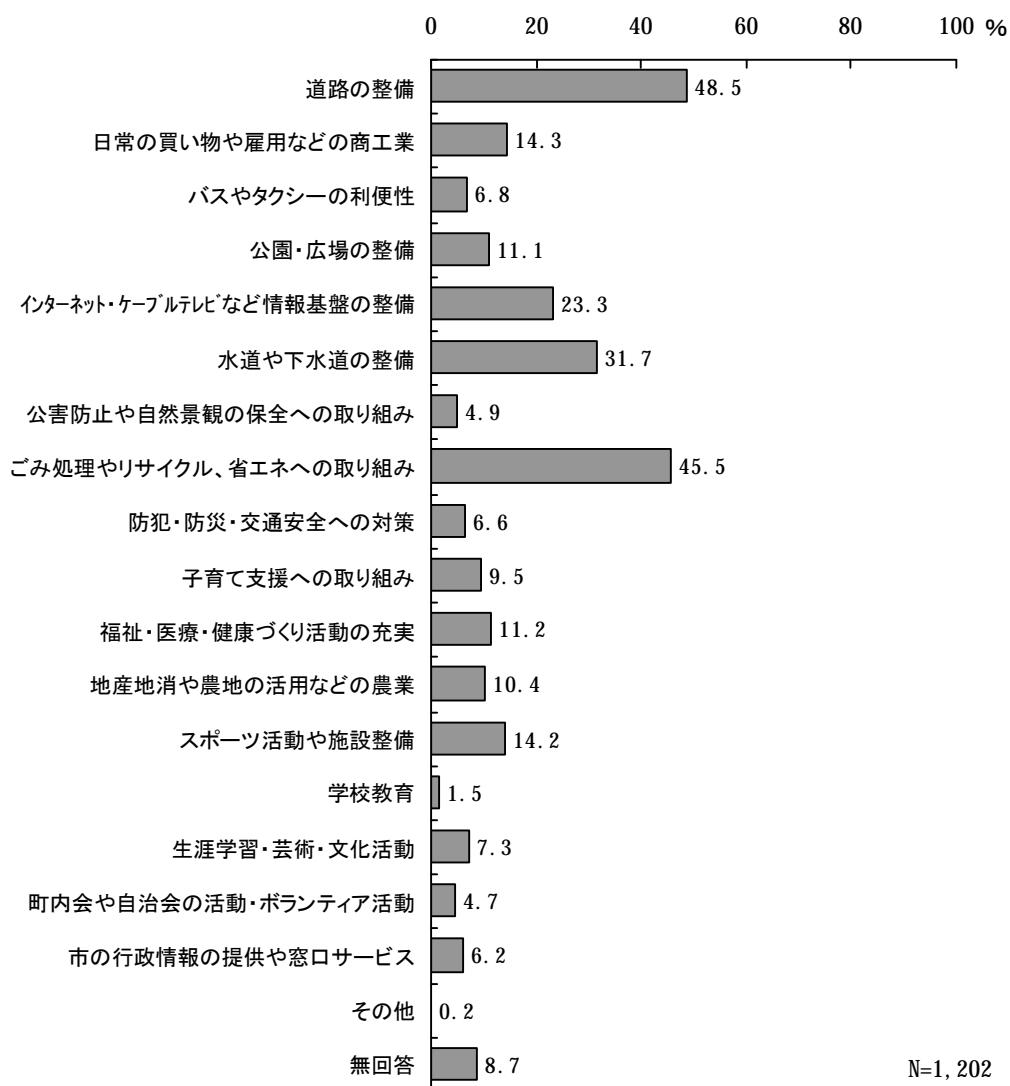


図13 良くなったと感じること

属性別で見ると、“性別”では示す割合に多少の違いはあるが、上位にあげられた項目の順位は変わらない。“年齢別”においては、若年層ほど「インターネット・ケーブルテレビなどの情報基盤の整備」、「スポーツ活動や施設整備」の割合が高くなっている。

“居住地別”では、「新本地区」、「日美地区」、「水内地区」、「下倉地区」、「清音地区」で「水道や下水道の整備」に示す割合が50%を超えている。また、「山手地区」では、「公園・広場の整備」が23.0%と他の地区に比べて高くなっている。

表 24 属性別に見た良くなったと感じること

区分		全体	道路の整備	日常の買い物や雇用などの商工業	バスやタクシーの利便性	公園・広場の整備	インターネット・ケーブルテレビなど情報基盤の整備	水道や下水道の整備	公害防止や自然景観の保全への取り組み	ごみ処理やリサイクル、省エネへの取り組み	防災・防犯・交通安全への取り組み	子育て支援への取り組み	福祉・医療・健康づくり活動の充実	地産地消や農地の活用などの農業	スポーツ活動や施設整備	学校教育	生涯学習・芸術・文化活動	町内会や自治会の活動・ボランティア活動	市の行政情報の提供や窓口サービス	その他	無回答
全体		1,202	583	172	82	133	280	381	59	547	79	114	135	125	171	18	88	56	75	2	104
		—	48.5	14.3	6.8	11.1	23.3	31.7	4.9	45.5	6.6	9.5	11.2	10.4	14.2	1.5	7.3	4.7	6.2	0.2	8.7
性別	男性	457	233	71	25	61	110	144	29	182	37	27	53	34	67	10	37	16	34	0	39
		—	51.0	15.5	5.5	13.3	24.1	31.5	6.3	39.8	8.1	5.9	11.6	7.4	14.7	2.2	8.1	3.5	7.4	0.0	8.5
	女性	712	334	97	54	69	165	229	29	354	41	84	77	88	103	8	47	40	38	2	57
	—	46.9	13.6	7.6	9.7	23.2	32.2	4.1	49.7	5.8	11.8	10.8	12.4	14.5	1.1	6.6	5.6	5.3	0.3	8.0	
	無回答	33	16	4	3	3	5	8	1	11	1	3	5	3	1	0	4	0	3	0	8
	—	—	48.5	12.1	9.1	9.1	15.2	24.2	3.0	33.3	3.0	9.1	15.2	9.1	3.0	0.0	12.1	0.0	9.1	0.0	24.2
年齢	20～29歳	73	50	19	0	9	24	12	4	22	3	7	4	6	21	1	8	2	1	1	3
		—	68.5	26.0	0.0	12.3	32.9	16.4	5.5	30.1	4.1	9.6	5.5	8.2	28.8	1.4	11.0	2.7	1.4	1.4	4.1
	30～39歳	104	59	29	1	16	35	14	5	31	6	10	8	14	26	3	4	5	6	0	7
		—	56.7	27.9	1.0	15.4	33.7	13.5	4.8	29.8	5.8	9.6	7.7	13.5	25.0	2.9	3.8	4.8	5.8	0.0	6.7
	40～49歳	135	69	21	5	10	42	31	4	59	14	21	3	17	30	2	8	6	4	1	12
		—	51.1	15.6	3.7	7.4	31.1	23.0	3.0	43.7	10.4	15.6	2.2	12.6	22.2	1.5	5.9	4.4	3.0	0.7	8.9
	50～59歳	230	117	31	14	26	66	76	11	94	15	29	15	32	33	2	26	7	13	0	15
		—	50.9	13.5	6.1	11.3	28.7	33.0	4.8	40.9	6.5	12.6	6.5	13.9	14.3	0.9	11.3	3.0	5.7	0.0	6.5
60～69歳	299	136	36	24	34	52	118	20	163	11	31	39	27	44	3	15	17	18	0	21	
	—	45.5	12.0	8.0	11.4	17.4	39.5	6.7	54.5	3.7	10.4	13.0	9.0	14.7	1.0	5.0	5.7	6.0	0.0	7.0	
70歳以上	333	137	32	36	35	57	125	15	168	29	15	62	26	16	7	24	19	30	0	39	
	—	41.1	9.6	10.8	10.5	17.1	37.5	4.5	50.5	8.7	4.5	18.6	7.8	4.8	2.1	7.2	5.7	9.0	0.0	11.7	
	無回答	28	15	4	2	3	4	5	0	10	1	1	4	3	1	0	3	0	3	0	7
	—	—	53.6	14.3	7.1	10.7	14.3	17.9	0.0	35.7	3.6	3.6	14.3	10.7	3.6	0.0	10.7	0.0	10.7	0.0	25.0
居住地	総社地区	418	210	67	38	54	73	137	17	190	28	42	35	47	77	6	32	16	23	1	34
		—	50.2	16.0	9.1	12.9	17.5	32.8	4.1	45.5	6.7	10.0	8.4	11.2	18.4	1.4	7.7	3.8	5.5	0.2	8.1
	常盤地区	138	79	20	4	12	25	55	8	84	5	13	13	9	26	4	10	3	9	0	7
		—	57.2	14.5	2.9	8.7	18.1	39.9	5.8	60.9	3.6	9.4	9.4	6.5	18.8	2.9	7.2	2.2	6.5	0.0	5.1
	三須地区	48	28	5	4	6	10	8	7	21	3	4	7	9	9	1	4	2	4	0	3
		—	58.3	10.4	8.3	12.5	20.8	16.7	14.6	43.8	6.3	8.3	14.6	18.8	18.8	2.1	8.3	4.2	8.3	0.0	6.3
	服部地区	44	27	7	2	4	10	11	2	23	3	5	3	3	8	0	2	3	2	0	2
		—	61.4	15.9	4.5	9.1	22.7	25.0	4.5	52.3	6.8	11.4	6.8	6.8	18.2	0.0	4.5	6.8	4.5	0.0	4.5
	阿曾地区	54	26	13	4	6	10	4	5	23	8	6	7	8	8	1	6	5	4	0	2
		—	48.1	24.1	7.4	11.1	18.5	7.4	9.3	42.6	14.8	11.1	13.0	14.8	14.8	1.9	11.1	9.3	7.4	0.0	3.7
	池田地区	36	15	7	1	1	16	3	5	18	2	2	5	6	4	0	4	2	2	0	0
		—	41.7	19.4	2.8	2.8	44.4	8.3	13.9	50.0	5.6	5.6	13.9	16.7	11.1	0.0	11.1	5.6	5.6	0.0	0.0
	秦地区	40	17	2	4	2	12	9	2	17	5	6	4	4	0	1	3	2	5	0	6
		—	42.5	5.0	10.0	5.0	30.0	22.5	5.0	42.5	12.5	15.0	10.0	10.0	0.0	2.5	7.5	5.0	12.5	0.0	15.0
	神在地区	38	7	7	2	6	18	8	2	15	7	4	7	3	7	1	2	2	1	0	2
		—	18.4	18.4	5.3	15.8	47.4	21.1	5.3	39.5	18.4	10.5	18.4	7.9	18.4	2.6	5.3	5.3	2.6	0.0	5.3
	久代地区	52	23	8	0	2	32	6	1	27	2	5	10	5	3	1	4	6	2	0	5
		—	44.2	15.4	0.0	3.8	61.5	11.5	1.9	51.9	3.8	9.6	19.2	9.6	5.8	1.9	7.7	11.5	3.8	0.0	9.6
	山田地区	18	7	1	0	2	9	4	1	11	0	2	3	2	3	0	0	1	1	0	1
		—	38.9	5.6	0.0	11.1	50.0	22.2	5.6	61.1	0.0	11.1	16.7	11.1	16.7	0.0	0.0	5.6	5.6	0.0	5.6
	新本地区	27	11	4	2	0	15	15	1	10	2	2	1	2	4	1	2	0	5	0	0
	—	40.7	14.8	7.4	0.0	55.6	55.6	3.7	37.0	7.4	7.4	3.7	7.4	14.8	3.7	7.4	0.0	18.5	0.0	0.0	
日美地区	41	18	4	2	0	14	22	2	18	1	5	4	3	2	1	4	2	2	1	5	
	—	43.9	9.8	4.9	0.0	34.1	53.7	4.9	43.9	2.4	12.2	9.8	7.3	4.9	2.4	9.8	4.9	4.9	2.4	12.2	
水内地区	18	7	0	0	0	11	12	1	9	1	1	4	1	1	0	1	2	0	0	0	
	—	38.9	0.0	0.0	0.0	61.1	66.7	5.6	50.0	5.6	5.6	22.2	5.6	5.6	0.0	5.6	11.1	0.0	0.0	0.0	
下倉地区	12	5	0	2	0	3	7	0	7	0	4	3	0	1	0	0	0	1	0	1	
	—	41.7	0.0	16.7	0.0	25.0	58.3	0.0	58.3	0.0	33.3	25.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	
富山地区	6	2	1	0	0	2	1	1	2	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	
	—	33.3	16.7	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	
山手地区	74	34	13	2	17	7	15	1	25	3	3	11	8	10	1	5	2	6	0	14	
	—	45.9	17.6	2.7	23.0	9.5	20.3	1.4	33.8	4.1	4.1	14.9	10.8	13.5	1.4	6.8	2.7	8.1	0.0	18.9	
清音地区	106	51	9	13	18	8	57	3	36	7	9	14	11	6	0	6	7	3	0	14	
	—	48.1	8.5	12.3	17.0	7.5	53.8	2.8	34.0	6.6	8.5	13.2	10.4	5.7	0.0	5.7	6.6	2.8	0.0	13.2	
	無回答	32	16	4	2	3	5	7	0	11	1	1	3	3	2	0	3	0	4	0	8
	—	—	50.0	12.5	6.3	9.4	15.6	21.9	0.0	34.4	3.1	3.1	9.4	9.4	6.3	0.0	9.4	0.0	12.5	0.0	25.0



一方、くらしや生活環境について、見直しや改善が必要と感じることでは、「福祉・医療・健康づくり活動の充実」が 35.8%で最も高い割合を示している。次いで「市の行政情報の提供や窓口サービス」が 29.5%である。以下、「バスやタクシーの利便性」(23.6%)、「防犯・防災・交通安全への対策」(21.4%)、「地産地消や農地の活用などの農業」(19.1%)、「学校教育」(17.7%)、「ゴミ処理やリサイクル、省エネへの取り組み」(16.6%)、「日常の買物や雇用などの商工業」(15.6%)、「水道や下水道の整備」(15.5%)、「公害防止や自然景観の保全への取り組み」(14.9%)の順で続いている。

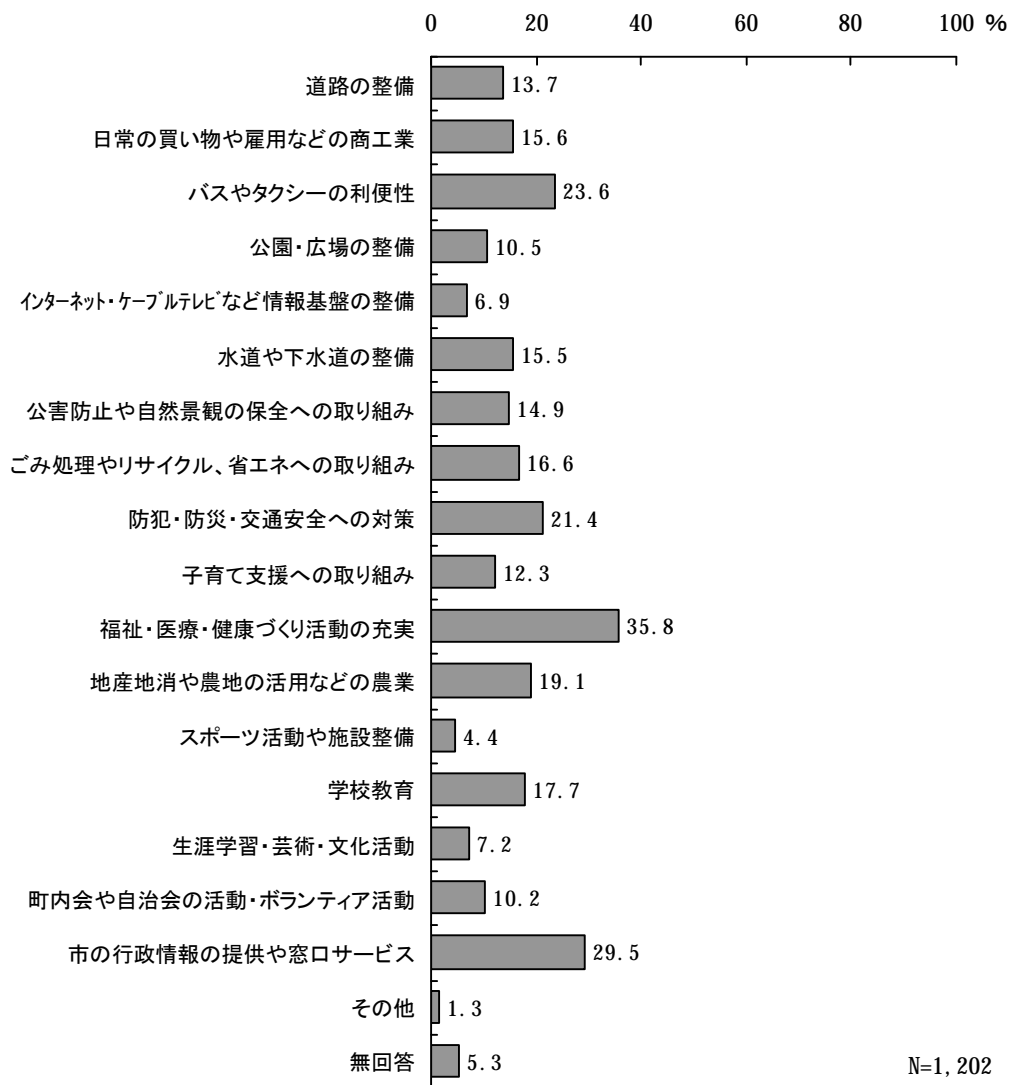


図 14 見直しや改善が必要と感じること

属性別で見ると、“性別”では大きな違いは見られないが、“年齢”においては、若年層では「学校教育」を、一方、年齢が高くなるほど「地産地消や農地の活用などの農業」、「道路の整備」に示す割合が高くなっている。

“居住地別”では、「山手地区」、「服部地区」が「バスやタクシーの利便性」を、「三須地区」、「阿曾地区」が「水道や下水道の整備」に高い割合を示している。

表 25 属性別に見た見直しや改善が必要と感じること

(上段：件数、下段：%)

区分	全体	道路の整備	日常の買い物や雇用のための商工業	バスやタクシーの利便性	公園・広場の整備	インターネット・ケーブルテレビなど情報基盤の整備	水道や下水道の整備	公害防止や自然景観の保全への取り組み	ごみ処理やリサイクル、省エネへの取り組み	防災・防災・交通安全への対策	子育て支援への取り組み	福祉・医療・健康づくり活動の充実	地産地消や農地の活用などの農業	スポーツ活動や施設整備	学校教育	生涯学習・芸術・文化活動	町内会や自治会の活動・ボランティア活動	市の行政情報の提供や窓口サービス	その他	無回答	
全体	1,202	165	188	284	126	83	186	179	199	257	148	430	229	53	213	86	123	354	16	64	
	—	13.7	15.6	23.6	10.5	6.9	15.5	14.9	16.6	21.4	12.3	35.8	19.1	4.4	17.7	7.2	10.2	29.5	1.3	5.3	
性別	男性	457	75	76	93	49	83	74	69	98	59	151	92	24	76	36	49	133	6	17	
		—	16.4	16.6	20.4	10.7	9.8	18.2	16.2	15.1	21.4	12.9	33.0	20.1	5.3	16.6	7.9	10.7	29.1	1.3	3.7
	女性	712	88	110	188	75	37	98	103	126	149	87	271	132	28	132	47	69	214	9	38
	—	12.4	15.4	26.4	10.5	5.2	13.8	14.5	17.7	20.9	12.2	38.1	18.5	3.9	18.5	6.6	9.7	30.1	1.3	5.3	
	無回答	33	2	2	3	2	1	5	2	4	10	2	8	5	1	5	3	5	7	1	9
	—	6.1	6.1	9.1	6.1	3.0	15.2	6.1	12.1	30.3	6.1	24.2	15.2	3.0	15.2	9.1	15.2	21.2	3.0	27.3	
年齢	20～29歳	73	4	12	21	12	5	13	9	16	12	14	24	6	3	19	9	5	15	0	5
		—	5.5	16.4	28.8	16.4	6.8	17.8	12.3	21.9	16.4	19.2	32.9	8.2	4.1	26.0	12.3	6.8	20.5	0.0	6.8
	30～39歳	104	9	21	20	18	7	19	19	26	28	17	34	13	4	19	7	4	27	2	5
		—	8.7	20.2	19.2	17.3	6.7	18.3	18.3	25.0	26.9	16.3	32.7	12.5	3.8	18.3	6.7	3.8	26.0	1.9	4.8
	40～49歳	135	11	20	32	18	7	30	12	30	33	24	42	23	15	32	7	12	45	5	0
		—	8.1	14.8	23.7	13.3	5.2	22.2	8.9	22.2	24.4	17.8	31.1	17.0	11.1	23.7	5.2	8.9	33.3	3.7	0.0
	50～59歳	230	36	39	48	22	24	32	39	45	53	27	100	44	10	36	15	16	73	2	4
		—	15.7	17.0	20.9	9.6	10.4	13.9	17.0	19.6	23.0	11.7	43.5	19.1	4.3	15.7	6.5	7.0	31.7	0.9	1.7
60～69歳	299	55	51	69	31	22	44	47	32	66	32	115	60	12	58	26	35	97	1	8	
	—	18.4	17.1	23.1	10.4	7.4	14.7	15.7	10.7	22.1	10.7	38.5	20.1	4.0	19.4	8.7	11.7	32.4	0.3	2.7	
70歳以上	333	48	44	91	24	17	44	51	46	58	32	108	80	8	44	19	46	93	5	34	
	—	14.4	13.2	27.3	7.2	5.1	13.2	15.3	13.8	17.4	9.6	32.4	24.0	2.4	13.2	5.7	13.8	27.9	1.5	10.2	
	無回答	28	2	1	3	1	1	4	2	4	7	2	7	3	1	5	3	5	4	1	8
	—	7.1	3.6	10.7	3.6	3.6	14.3	7.1	14.3	25.0	7.1	25.0	10.7	3.6	17.9	10.7	17.9	14.3	3.6	28.6	
居住地	総社地区	418	52	58	71	50	17	49	64	73	101	60	165	60	23	82	44	50	134	6	22
		—	12.4	13.9	17.0	12.0	4.1	11.7	15.3	17.5	24.2	14.4	39.5	14.4	5.5	19.6	10.5	12.0	32.1	1.4	5.3
	常盤地区	138	16	21	21	18	4	16	27	16	49	16	58	26	9	31	6	16	39	1	6
		—	11.6	15.2	15.2	13.0	2.9	11.6	19.6	11.6	35.5	11.6	42.0	18.8	6.5	22.5	4.3	11.6	28.3	0.7	4.3
	三須地区	48	4	10	16	6	5	21	8	9	7	4	17	5	1	12	4	1	7	0	1
		—	8.3	20.8	33.3	12.5	10.4	43.8	16.7	18.8	14.6	8.3	35.4	10.4	2.1	25.0	8.3	2.1	14.6	0.0	2.1
	服部地区	44	3	4	18	9	1	11	4	6	8	5	15	14	2	9	1	5	12	1	0
		—	6.8	9.1	40.9	20.5	2.3	25.0	9.1	13.6	18.2	11.4	34.1	31.8	4.5	20.5	2.3	11.4	27.3	2.3	0.0
	阿曾地区	54	8	7	21	0	17	20	4	10	8	5	16	16	2	5	1	5	14	1	0
		—	14.8	13.0	38.9	0.0	31.5	37.0	7.4	18.5	14.8	9.3	29.6	29.6	3.7	9.3	1.9	9.3	25.9	1.9	0.0
	池田地区	36	6	8	6	2	0	9	10	3	7	8	14	8	0	4	5	1	10	0	1
		—	16.7	22.2	16.7	5.6	0.0	25.0	27.8	8.3	19.4	22.2	38.9	22.2	0.0	11.1	13.9	2.8	27.8	0.0	2.8
	秦地区	40	15	2	12	7	2	13	3	7	4	6	15	7	2	3	1	2	7	0	4
		—	37.5	5.0	30.0	17.5	5.0	32.5	7.5	17.5	10.0	15.0	37.5	17.5	5.0	7.5	2.5	5.0	17.5	0.0	10.0
	神在地区	38	12	2	2	5	0	9	8	12	6	5	12	9	2	4	2	4	11	2	1
		—	31.6	5.3	5.3	13.2	0.0	23.7	21.1	31.6	15.8	13.2	31.6	23.7	5.3	10.5	5.3	10.5	28.9	5.3	2.6
	久代地区	52	8	8	13	7	2	10	9	10	6	7	12	14	0	8	2	7	14	0	5
	—	15.4	15.4	25.0	13.5	3.8	19.2	17.3	19.2	11.5	13.5	23.1	26.9	0.0	15.4	3.8	13.5	26.9	0.0	9.6	
山田地区	18	6	4	3	0	0	6	5	3	5	1	8	3	3	2	0	1	3	0	0	
	—	33.3	22.2	16.7	0.0	0.0	33.3	27.8	16.7	27.8	5.6	44.4	16.7	16.7	11.1	0.0	5.6	16.7	0.0	0.0	
新本地区	27	3	3	13	3	1	3	6	6	8	2	6	11	0	5	1	1	6	0	0	
	—	11.1	11.1	48.1	11.1	3.7	11.1	22.2	22.2	29.6	7.4	22.2	40.7	0.0	18.5	3.7	3.7	22.2	0.0	0.0	
日美地区	41	5	6	4	8	2	7	4	3	12	5	14	12	0	7	4	5	10	2	2	
	—	12.2	14.6	9.8	19.5	4.9	17.1	9.8	7.3	29.3	12.2	34.1	29.3	0.0	17.1	9.8	12.2	24.4	4.9	4.9	
水内地区	18	5	5	6	1	2	1	3	3	1	0	8	6	2	4	0	2	2	0	1	
	—	27.8	27.8	33.3	5.6	11.1	5.6	16.7	16.7	5.6	0.0	44.4	33.3	11.1	22.2	0.0	11.1	11.1	0.0	5.6	
下倉地区	12	2	2	4	1	4	0	0	0	2	1	4	2	1	5	0	1	5	0	0	
	—	16.7	16.7	33.3	8.3	33.3	0.0	0.0	0.0	16.7	8.3	33.3	16.7	8.3	41.7	0.0	8.3	41.7	0.0	0.0	
富山地区	6	3	2	2	0	3	1	0	0	1	1	1	1	1	0	0	0	2	0	0	
	—	50.0	33.3	33.3	0.0	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
山手地区	74	3	14	50	2	10	3	6	15	14	9	22	12	0	7	5	4	24	2	4	
	—	4.1	18.9	67.6	2.7	13.5	4.1	8.1	20.3	18.9	12.2	29.7	16.2	0.0	9.5	6.8	5.4	32.4	2.7	5.4	
清音地区	106	11	31	19	5	13	3	16	19	10	10	33	20	3	20	6	13	49	0	8	
	—	10.4	29.2	17.9	4.7	12.3	2.8	15.1	17.9	9.4	9.4	31.1	18.9	2.8	18.9	5.7	12.3	46.2	0.0	7.5	
無回答	32	3	1	3	2	0	4	2	4	8	3	10	3	2	5	4	5	5	1	9	
	—	9.4	3.1	9.4	6.3	0.0	12.5	6.3	12.5	25.0	9.4	31.3	9.4	6.3	15.6	12.5	15.6	15.6	3.1	28.1	

(11) 今後、優先的に取り組んでほしいこと（複数回答）

問 11 今後、優先的に取り組んでほしいことはどれですか。次の項目のなかからそれぞれ分野ごとに2つ選んでください。

今後、優先的に取り組んでほしいことを分野別に見ると、『生活関連・環境・防災の分野』では、「防犯・交通安全への対策」が28.0%で第一位、「地球温暖化防止への取り組み」が24.0%で第二位にあげられている。以下、「生活道路の整備」(19.6%)、「鉄道やバスなどの交通機関」(19.6%)、「ごみの処理・リサイクルへの取り組み」(18.6%)、「自然景観や貴重な自然などの環境保全」(17.6%)、「火災や自然災害への防災対策」(16.9%)、「水道や下水道の整備」(15.5%)と大差ない数字で続いている。

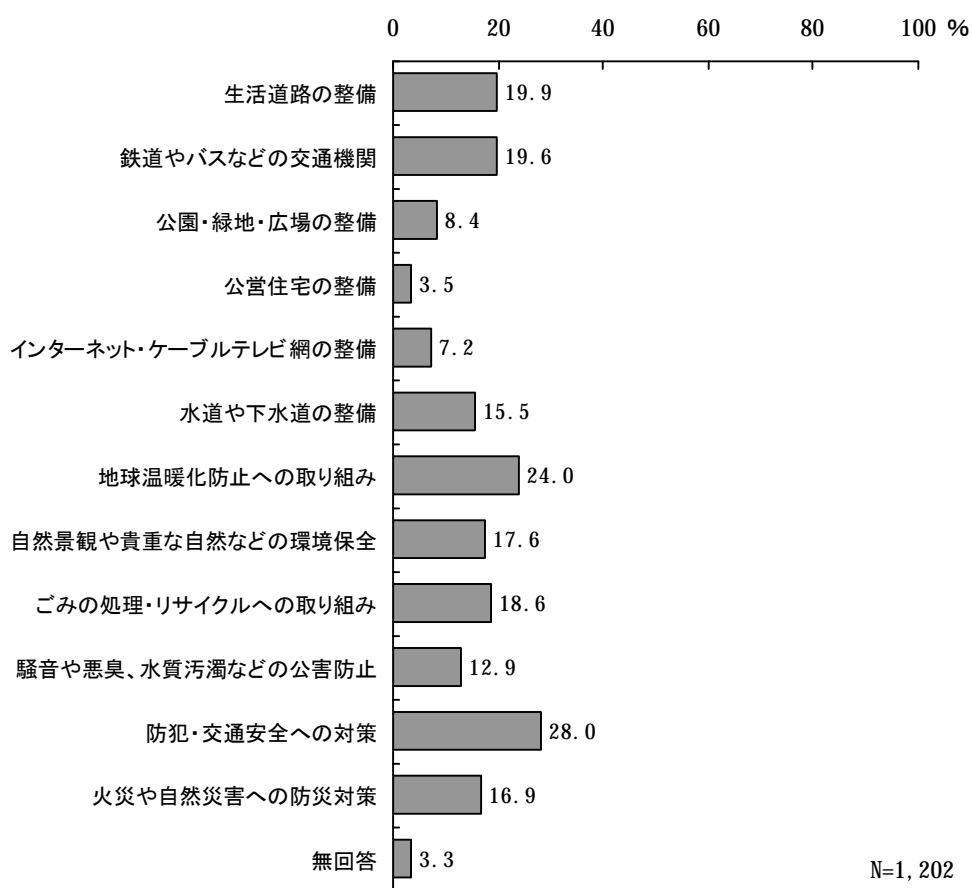


図 15 生活関連・環境・防災の分野

属性別で見ると、“性別”では「男性」は、「生活道路の整備」、「自然景観や貴重な自然などの環境保全」に高い割合を示しているのに対し、「女性」は、「地球温暖化防止への取り組み」、「鉄道やバスなどの交通機関」を上位にあげている。“年齢別”においては、“20～29歳”および“60～69歳”では「地球温暖化防止への取り組み」が第一位になっている。

“居住地別”では、各々優先的に取り組んでほしい項目の上位順位は異なっている。

表 26 属性別に見た生活関連・環境・防災の分野

(上段：件数、下段：%)

区分	全体	生活道路の整備	鉄道やバスなどの交通機関	公園・緑地・広場の整備	公営住宅の整備	インターネット・ケーブルテレビ網の整備	水道や下水道の整備	地球温暖化防止への取り組み	自然景観や貴重な自然などの環境保全	ごみの処理・リサイクルへの取り組み	騒音や悪臭、水質汚濁などの公害防止	防犯・交通安全への対策	火災や自然災害への防災対策	無回答	
全体	1,202	239	236	101	42	86	186	288	212	224	155	337	203	40	
	—	19.9	19.6	8.4	3.5	7.2	15.5	24.0	17.6	18.6	12.9	28.0	16.9	3.3	
性別	男性	457	114	70	35	16	38	90	76	80	71	126	67	16	
		—	24.9	15.3	7.7	3.5	8.3	19.7	16.6	17.5	15.5	27.6	14.7	3.5	
	女性	712	118	156	65	26	46	90	206	111	143	83	203	131	18
	—	16.6	21.9	9.1	3.7	6.5	12.6	28.9	15.6	20.1	11.7	28.5	18.4	2.5	
	無回答	33	7	10	1	0	2	6	6	1	1	8	5	6	
	—	2.2	30.3	3.0	0.0	6.1	18.2	18.2	18.2	3.0	3.0	24.2	15.2	18.2	
年齢	20～29歳	73	11	15	10	3	11	13	20	13	16	10	18	3	1
		—	15.1	20.5	13.7	4.1	15.1	17.8	27.4	17.8	21.9	13.7	24.7	4.1	1.4
	30～39歳	104	14	15	10	8	7	14	27	18	26	17	36	10	3
		—	13.5	14.4	9.6	7.7	6.7	13.5	26.0	17.3	25.0	16.3	34.6	9.6	2.9
	40～49歳	135	14	30	15	3	7	25	39	16	41	8	50	22	0
		—	10.4	22.2	11.1	2.2	5.2	18.5	28.9	11.9	30.4	5.9	37.0	16.3	0.0
	50～59歳	230	49	33	20	10	22	33	43	43	54	33	61	41	8
		—	21.3	14.3	8.7	4.3	9.6	14.3	18.7	18.7	23.5	14.3	26.5	17.8	3.5
60～69歳	299	73	58	17	8	21	50	83	54	41	44	82	51	6	
	—	24.4	19.4	5.7	2.7	7.0	16.7	27.8	18.1	13.7	14.7	27.4	17.1	2.0	
70歳以上	333	73	76	28	10	16	46	72	63	46	42	84	71	16	
	—	21.9	22.8	8.4	3.0	4.8	13.8	21.6	18.9	13.8	12.6	25.2	21.3	4.8	
	無回答	28	5	9	1	0	2	5	4	0	1	6	5	6	
	—	17.9	32.1	3.6	0.0	7.1	17.9	14.3	17.9	0.0	3.6	21.4	17.9	21.4	
居住地	総社地区	418	79	68	38	23	17	46	105	73	86	64	134	82	9
		—	18.9	16.3	9.1	5.5	4.1	11.0	25.1	17.5	20.6	15.3	32.1	19.6	2.2
	常盤地区	138	23	15	14	7	4	15	37	24	28	25	49	24	5
		—	16.7	10.9	10.1	5.1	2.9	10.9	26.8	17.4	20.3	18.1	35.5	17.4	3.6
	三須地区	48	7	11	3	0	3	23	10	7	7	5	15	2	1
		—	14.6	22.9	6.3	0.0	6.3	47.9	20.8	14.6	14.6	10.4	31.3	4.2	2.1
	服部地区	44	5	10	5	1	1	10	11	10	11	5	10	5	2
		—	11.4	22.7	11.4	2.3	2.3	22.7	25.0	22.7	25.0	11.4	22.7	11.4	4.5
	阿曾地区	54	11	17	2	3	11	18	8	6	12	7	8	3	1
		—	20.4	31.5	3.7	5.6	20.4	33.3	14.8	11.1	22.2	13.0	14.8	5.6	1.9
	池田地区	36	6	6	4	1	3	12	9	10	2	2	7	7	1
		—	16.7	16.7	11.1	2.8	8.3	33.3	25.0	27.8	5.6	5.6	19.4	19.4	2.8
	秦地区	40	15	4	6	0	2	10	5	4	6	2	12	5	4
		—	37.5	10.0	15.0	0.0	5.0	25.0	12.5	10.0	15.0	5.0	30.0	12.5	10.0
	神在地区	38	10	5	2	1	2	9	11	2	9	7	7	8	1
		—	26.3	13.2	5.3	2.6	5.3	23.7	28.9	5.3	23.7	18.4	18.4	21.1	2.6
	久代地区	52	16	14	2	0	2	13	10	9	12	4	12	6	1
		—	30.8	26.9	3.8	0.0	3.8	25.0	19.2	17.3	23.1	7.7	23.1	11.5	1.9
	山田地区	18	6	3	1	0	0	5	3	2	4	1	3	2	2
		—	33.3	16.7	5.6	0.0	0.0	27.8	16.7	11.1	22.2	5.6	16.7	11.1	11.1
新本地区	27	4	6	4	0	2	4	6	7	2	3	10	6	0	
	—	14.8	22.2	14.8	0.0	7.4	14.8	22.2	25.9	7.4	11.1	37.0	22.2	0.0	
日美地区	41	9	1	4	1	3	9	10	8	3	7	13	9	2	
	—	22.0	2.4	9.8	2.4	7.3	22.0	24.4	19.5	7.3	17.1	31.7	22.0	4.9	
水内地区	18	10	2	2	1	2	0	7	1	3	1	3	4	0	
	—	55.6	11.1	11.1	5.6	11.1	0.0	38.9	5.6	16.7	5.6	16.7	22.2	0.0	
下倉地区	12	4	4	1	0	1	1	2	2	2	1	2	4	0	
	—	33.3	33.3	8.3	0.0	8.3	8.3	16.7	16.7	16.7	8.3	16.7	33.3	0.0	
富山地区	6	3	1	0	0	1	1	1	2	1	0	1	1	0	
	—	50.0	16.7	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	
山手地区	74	9	39	4	0	15	3	11	22	14	6	16	9	0	
	—	12.2	52.7	5.4	0.0	20.3	4.1	14.9	29.7	18.9	8.1	21.6	12.2	0.0	
清音地区	106	16	20	6	3	14	1	37	18	22	14	30	20	5	
	—	15.1	18.9	5.7	2.8	13.2	0.9	34.9	17.0	20.8	13.2	28.3	18.9	4.7	
	無回答	32	6	10	3	1	3	6	5	0	1	5	6	6	
	—	18.8	31.3	9.4	3.1	9.4	18.8	15.6	15.6	0.0	3.1	15.6	18.8	18.8	

『健康・福祉・文化の分野』で、今後、優先的に取り組んでほしい項目は、「救急医療体制の充実」(46.2%)、「高齢者・障がい者の福祉の充実」(43.4%)が大差ない数字で第一位、二位にあげられている。次いで、「保健・医療・健康づくりの充実」(24.9%)、「青少年の健全育成・人権尊重の啓発」(13.5%)、「子育て支援の制度や相談体制の充実」(11.2%)、「学校教育の充実や教育施設の整備」(10.6%)、「保育所や学童保育の充実」(9.2%)、「生涯学習活動や芸術・文化活動への支援とその関連施設の整備」(8.2%)、「文化財や名所・旧跡の保護と活用」(8.1%)の順になっている。

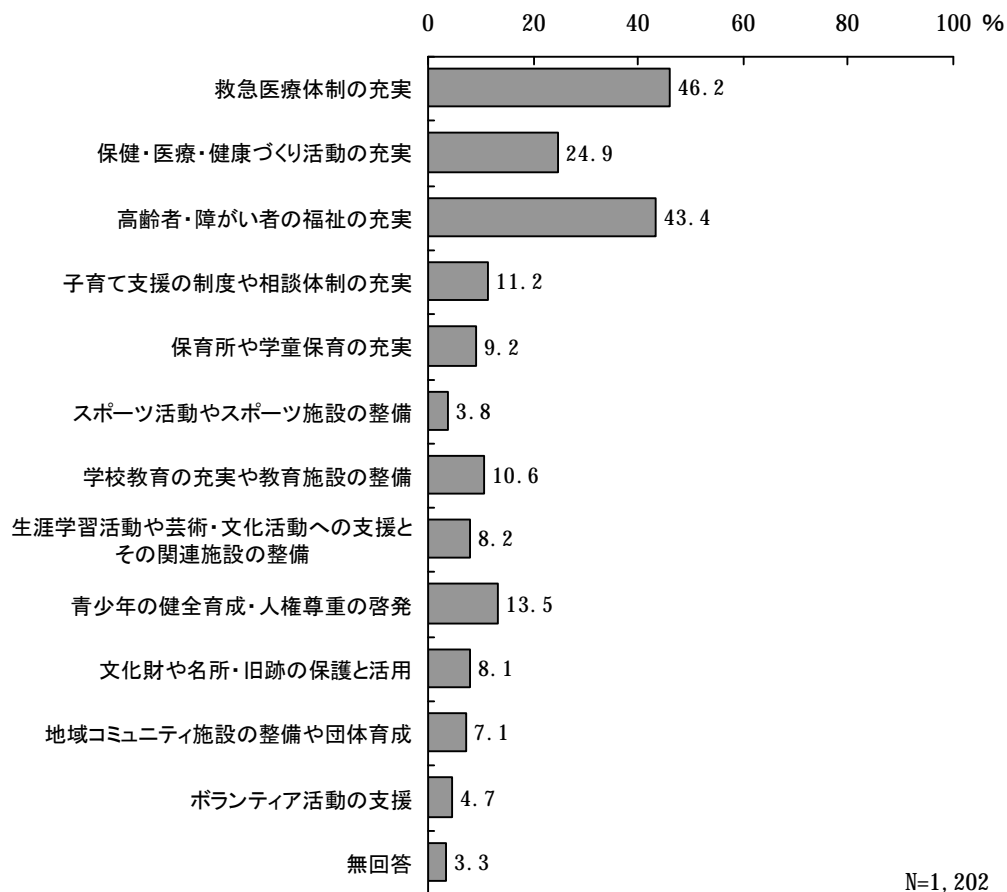


図 16 健康・福祉・文化の分野

属性別で見ると、“性別”では、上位にあげる項目に違いは見られない。“年齢別”においては、若年層ほど「救急医療体制の充実」、「子育て支援の制度や相談体制の充実」、「学校教育の充実や教育施設の整備」へ示す割合が高くなっている。一方、60歳以上では、第一位が「高齢者・障がい者の福祉充実」である。

“居住地別”では、サンプル数の少ない地区であるが、「神在地区」、「山田地区」、「富山地区」で「救急医療体制の充実」への要望が全体に比べ、10～20ポイント以上高くなっている。

表 27 属性別に見た健康・福祉・文化の分野

(上段：件数、下段：%)

区分	全体	救急医療体制の充実	保健・医療・健康づくり活動の充実	高齢者・障がい者の福祉の充実	子育て支援の制度や相談体制の充実	保育所や学童保育の充実	スポーツ活動やスポーツ施設の整備	学校教育の充実や教育施設の整備	生涯学習活動や芸術・文化活動への支援とその関連施設の整備	青少年の健全育成・人権尊重の啓発	文化財や名所・旧跡の保護と活用	地域コミュニティ施設の整備や団体育成	ボランティア活動の支援	無回答	
全体	1,202	555	299	522	135	111	46	128	98	162	97	85	56	40	
	—	46.2	24.9	43.4	11.2	9.2	3.8	10.6	8.2	13.5	8.1	7.1	4.7	3.3	
性別	男性	457	204	122	185	59	32	27	48	41	55	45	33	20	16
		—	44.6	26.7	40.5	12.9	7.0	5.9	10.5	9.0	12.0	9.8	7.2	4.4	3.5
	女性	712	338	169	324	72	77	19	78	55	104	51	50	34	18
	—	47.5	23.7	45.5	10.1	10.8	2.7	11.0	7.7	14.6	7.2	7.0	4.8	2.5	
	無回答	33	13	8	13	4	2	2	2	3	1	2	2	6	
	—	39.4	24.2	39.4	12.1	6.1	0.0	6.1	6.1	9.1	3.0	6.1	6.1	18.2	
年齢	20～29歳	73	38	21	25	13	9	2	11	7	6	4	5	3	0
		—	52.1	28.8	34.2	17.8	12.3	2.7	15.1	9.6	8.2	5.5	6.8	4.1	0.0
	30～39歳	104	53	25	34	17	17	10	18	5	10	7	5	1	2
		—	51.0	24.0	32.7	16.3	16.3	9.6	17.3	4.8	9.6	6.7	4.8	1.0	1.9
	40～49歳	135	68	24	48	26	13	14	24	10	11	13	8	5	2
		—	50.4	17.8	35.6	19.3	9.6	10.4	17.8	7.4	8.1	9.6	5.9	3.7	1.5
	50～59歳	230	108	67	86	24	27	7	18	24	31	21	16	10	8
		—	47.0	29.1	37.4	10.4	11.7	3.0	7.8	10.4	13.5	9.1	7.0	4.3	3.5
	60～69歳	299	134	80	137	29	27	6	35	29	39	25	26	17	4
	—	44.8	26.8	45.8	9.7	9.0	2.0	11.7	9.7	13.0	8.4	8.7	5.7	1.3	
70歳以上	333	143	77	181	22	17	7	20	22	62	27	23	18	18	
	—	42.9	23.1	54.4	6.6	5.1	2.1	6.0	6.6	18.6	8.1	6.9	5.4	5.4	
	無回答	28	11	5	11	4	1	0	2	1	3	0	2	6	
	—	39.3	17.9	39.3	14.3	3.6	0.0	7.1	3.6	10.7	0.0	7.1	7.1	21.4	
居住地	総社地区	418	208	91	181	47	33	19	45	36	70	40	23	17	11
		—	49.8	21.8	43.3	11.2	7.9	4.5	10.8	8.6	16.7	9.6	5.5	4.1	2.6
	常盤地区	138	72	40	59	11	16	4	19	10	12	11	5	9	3
		—	52.2	29.0	42.8	8.0	11.6	2.9	13.8	7.2	8.7	8.0	3.6	6.5	2.2
	三須地区	48	17	13	18	4	4	1	10	3	9	10	3	1	1
		—	35.4	27.1	37.5	8.3	8.3	2.1	20.8	6.3	18.8	20.8	6.3	2.1	2.1
	服部地区	44	20	10	25	6	2	3	6	2	5	2	2	2	1
		—	45.5	22.7	56.8	13.6	4.5	6.8	13.6	4.5	11.4	4.5	4.5	4.5	2.3
	阿曾地区	54	22	10	28	5	4	3	6	7	2	4	6	6	2
		—	40.7	18.5	51.9	9.3	7.4	5.6	11.1	13.0	3.7	7.4	11.1	11.1	3.7
	池田地区	36	12	6	15	6	7	1	4	6	5	4	1	2	1
		—	33.3	16.7	41.7	16.7	19.4	2.8	11.1	16.7	13.9	11.1	2.8	5.6	2.8
	秦地区	40	11	13	19	7	4	1	2	3	5	2	3	2	4
		—	27.5	32.5	47.5	17.5	10.0	2.5	5.0	7.5	12.5	5.0	7.5	5.0	10.0
	神在地区	38	22	12	15	4	2	2	3	0	5	2	3	2	1
		—	57.9	31.6	39.5	10.5	5.3	5.3	7.9	0.0	13.2	5.3	7.9	5.3	2.6
	久代地区	52	25	18	22	3	5	2	2	3	8	2	6	3	1
		—	48.1	34.6	42.3	5.8	9.6	3.8	3.8	5.8	15.4	3.8	11.5	5.8	1.9
	山田地区	18	12	3	8	2	0	2	2	0	2	0	0	0	2
		—	66.7	16.7	44.4	11.1	0.0	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1
新本地区	27	10	9	9	7	4	1	3	1	4	3	3	0	0	
	—	37.0	33.3	33.3	25.9	14.8	3.7	11.1	3.7	14.8	11.1	11.1	0.0	0.0	
日美地区	41	21	14	15	4	4	1	2	3	4	0	6	2	2	
	—	51.2	34.1	36.6	9.8	9.8	2.4	4.9	7.3	9.8	0.0	14.6	4.9	4.9	
水内地区	18	9	5	10	1	1	1	1	0	4	0	2	1	0	
	—	50.0	27.8	55.6	5.6	5.6	5.6	5.6	0.0	22.2	0.0	11.1	5.6	0.0	
下倉地区	12	4	3	8	2	2	0	0	1	1	0	2	1	0	
	—	33.3	25.0	66.7	16.7	16.7	0.0	0.0	8.3	8.3	0.0	16.7	8.3	0.0	
富山地区	6	4	0	1	0	0	0	2	0	1	2	2	0	0	
	—	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	33.3	33.3	0.0	0.0	
山手地区	74	35	16	33	7	11	1	7	8	8	8	8	2	0	
	—	47.3	21.6	44.6	9.5	14.9	1.4	9.5	10.8	10.8	10.8	10.8	2.7	0.0	
清音地区	106	40	28	43	15	11	4	12	12	14	6	8	4	5	
	—	37.7	26.4	40.6	14.2	10.4	3.8	11.3	11.3	13.2	5.7	7.5	3.8	4.7	
	無回答	32	11	8	13	4	1	0	2	3	1	2	2	6	
	—	34.4	25.0	40.6	12.5	3.1	0.0	6.3	9.4	9.4	3.1	6.3	6.3	18.8	

『産業・その他の分野』で、今後、優先的に取り組んでほしい項目は、「市役所の窓口の利用のしやすさ」が**29.1%**で第一位にあげられている。次いで、「吉備路の観光資源を生かした観光の振興」が**26.8%**、「特産品の開発やサン直など特色ある農業」が**25.5%**、「自治組織や町内会などへの支援」が**22.8%**となっている。以下、「国道や県道などの幹線道路の整備」(**16.7%**)、「工業の振興や企業誘致」(**16.5%**)、「市政への市民参加」(**13.6%**)、「商業の振興」(**13.3%**)、「ほ場整備などの農地の整備」(**8.3%**)、「男女共同参画の社会づくり」(**5.7%**)、「市のホームページ・広報紙」(**5.7%**)、「国際交流の推進」(**2.7%**)の順になっている。

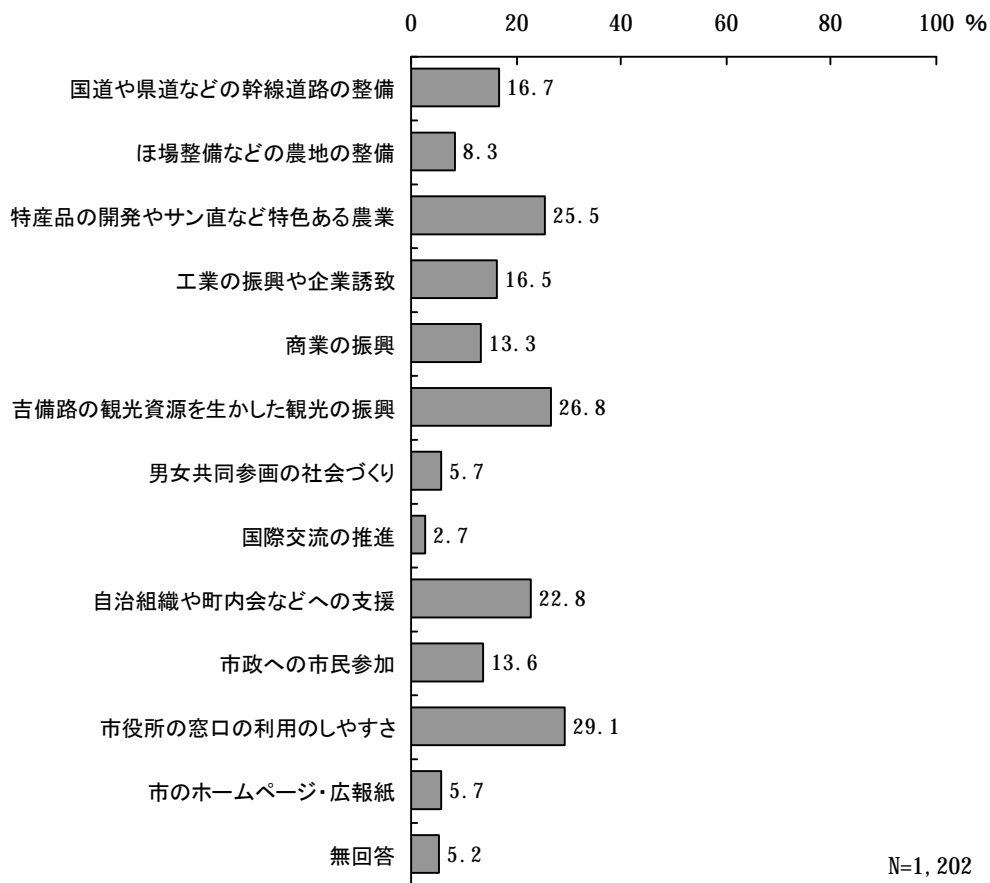


図 17 産業・その他の分野

属性別で見ると、“性別”では、上位順位に違いが見られる。また、“年齢別”においては、若年層ほど「工業の振興や企業誘致」、「商業の振興」への割合が高く、一方、高齢者は、「自治組織や町内会などへの支援」への取り組みの要望が高くなっている。

“居住地別”では、「三須地区」、「阿曾地区」、「池田地区」、「山手地区」で「吉備路の観光資源を生かした観光の振興」への要望が全体に比べ、12～17ポイント以上高くなっている。

表 28 属性別に見た産業・その他の分野

(上段：件数、下段：%)

区分	全体	国道や県道などの幹線道路の整備	ほ場整備などの農地の整備	特産品の開発やサン直など特色ある農業	工業の振興や企業誘致	商業の振興	吉備路の観光資源を生かした観光の振興	男女共同参画の社会づくり	国際交流の推進	自治組織や町内会などへの支援	市政への市民参加	市役所の窓口の利便のしやすさ	市のホームページ・広報紙	無回答		
全体	1,202 —	201 16.7	100 8.3	306 25.5	198 16.5	160 13.3	322 26.8	69 5.7	33 2.7	274 22.8	163 13.6	350 29.1	69 5.7	63 5.2		
性別	男性	457 —	100 21.9	49 10.7	95 20.8	92 20.1	63 13.8	123 26.9	18 3.9	8 1.8	97 21.2	65 14.2	119 26.0	30 6.6	22 4.8	
	女性	712 —	97 13.6	48 6.7	201 28.2	101 14.2	93 13.1	194 27.2	48 6.7	23 3.2	170 23.9	98 13.8	223 31.3	38 5.3	35 4.9	
	無回答	33 —	4 12.1	3 9.1	10 30.3	5 15.2	4 12.1	5 15.2	3 9.1	2 6.1	7 21.2	0 0.0	8 24.2	1 3.0	6 18.2	
年齢	20～29歳	73 —	13 17.8	2 2.7	20 27.4	14 19.2	12 16.4	27 37.0	5 6.8	9 12.3	7 9.6	6 8.2	23 31.5	1 1.4	2 2.7	
	30～39歳	104 —	27 26.0	5 4.8	23 22.1	16 15.4	28 26.9	23 22.1	9 8.7	3 2.9	15 14.4	12 11.5	32 30.8	7 6.7	4 3.8	
	40～49歳	135 —	26 19.3	10 7.4	26 19.3	31 23.0	21 15.6	31 23.0	12 8.9	6 4.4	22 16.3	18 13.3	47 34.8	9 6.7	5 3.7	
	50～59歳	230 —	34 14.8	17 7.4	60 26.1	40 17.4	35 15.2	74 32.2	14 6.1	3 1.3	43 18.7	38 16.5	67 29.1	7 3.0	9 3.9	
	60～69歳	299 —	50 16.7	27 9.0	87 29.1	46 15.4	33 11.0	81 27.1	16 5.4	6 2.0	75 25.1	45 15.1	91 30.4	15 5.0	9 3.0	
	70歳以上	333 —	48 14.4	36 10.8	82 24.6	47 14.1	27 8.1	83 24.9	12 3.6	4 1.2	107 32.1	44 13.2	82 24.6	29 8.7	28 8.4	
	無回答	28 —	3 10.7	3 10.7	8 28.6	4 14.3	4 14.3	3 10.7	1 3.6	2 7.1	5 17.9	0 0.0	8 28.6	1 3.6	6 21.4	
	居住地	総社地区	418 —	66 15.8	24 5.7	102 24.4	68 16.3	66 15.8	113 27.0	34 8.1	10 2.4	82 19.6	64 15.3	139 33.3	32 7.7	13 3.1
		常盤地区	138 —	17 12.3	8 5.8	33 23.9	28 20.3	26 18.8	44 31.9	7 5.1	3 2.2	31 22.5	20 14.5	37 26.8	9 6.5	5 3.6
三須地区		48 —	5 10.4	6 12.5	12 25.0	10 20.8	6 12.5	21 43.8	1 2.1	1 14.6	7 16.7	8 18.8	9 21.1	1 2.1	4 8.3	
服部地区		44 —	6 13.6	2 4.5	10 22.7	12 27.3	7 15.9	16 36.4	2 4.5	0 0.0	8 18.2	5 11.4	11 25.0	2 4.5	3 6.8	
阿曾地区		54 —	13 24.1	7 13.0	10 18.5	13 24.1	2 3.7	21 38.9	1 1.9	3 5.6	11 20.4	6 11.1	15 27.8	2 3.7	2 3.7	
池田地区		36 —	6 16.7	3 8.3	10 27.8	3 8.3	3 8.3	14 38.9	1 2.8	2 5.6	9 25.0	5 13.9	9 25.0	2 5.6	2 5.6	
秦地区		40 —	5 12.5	4 10.0	11 27.5	6 15.0	4 10.0	7 17.5	1 2.5	1 2.5	6 15.0	11 27.5	8 20.0	4 10.0	6 15.0	
神在地区		38 —	10 26.3	5 13.2	9 23.7	6 15.8	4 10.5	6 15.8	2 5.3	1 2.6	7 18.4	7 18.4	12 31.6	2 5.3	2 5.3	
久代地区		52 —	14 26.9	10 19.2	10 19.2	6 11.5	5 9.6	11 21.2	3 5.8	0 0.0	16 30.8	5 9.6	15 28.8	3 5.8	3 5.8	
山田地区		18 —	4 22.2	2 11.1	7 38.9	2 11.1	2 11.1	3 16.7	2 11.1	1 5.6	5 27.8	1 5.6	3 16.7	0 0.0	2 11.1	
新本地区		27 —	6 22.2	1 3.7	10 37.0	5 18.5	1 3.7	7 25.9	0 0.0	1 3.7	5 18.5	7 25.9	5 18.5	2 7.4	1 3.7	
日美地区		41 —	3 7.3	6 14.6	11 26.8	7 17.1	2 4.9	4 9.8	4 9.8	1 2.4	13 31.7	9 22.0	10 24.4	1 2.4	4 9.8	
水内地区		18 —	10 55.6	1 5.6	9 50.0	3 16.7	2 11.1	2 11.1	2 11.1	0 0.0	4 22.2	1 5.6	0 0.0	1 5.6	0 0.0	
下倉地区		12 —	2 16.7	3 25.0	3 25.0	3 25.0	1 8.3	1 8.3	0 0.0	1 8.3	6 50.0	0 0.0	4 33.3	0 0.0	0 0.0	
富山地区		6 —	5 83.3	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	3 50.0	0 0.0	0 0.0	
山手地区		74 —	12 16.2	9 12.2	23 31.1	5 6.8	11 14.9	29 39.2	4 5.4	2 2.7	19 25.7	2 2.7	22 29.7	3 4.1	3 4.1	
清音地区		106 —	13 12.3	6 5.7	28 26.4	15 14.2	14 13.2	18 17.0	3 2.8	3 2.8	39 36.8	10 9.4	39 36.8	3 2.8	7 6.6	
無回答	32 —	4 12.5	3 9.4	8 25.0	4 12.5	4 12.5	5 15.6	2 6.3	3 9.4	5 15.6	1 3.1	9 28.1	2 6.3	6 18.8		



郷土愛から見た産業・その他の分野では、全体として大きな特徴は見られないが、「どちらかといえば感じない」で、「市役所の窓口の利用のしやすさ」が、39.3%と高くなっている。

表 29 郷土愛から見た産業・その他の分野

(上段：件数、下段：%)

区分		全体	国道や県道などの幹線道路の整備	ほ場整備などの農地の整備	特産品の開発やサン直など特色ある農業	工業の振興や企業誘致	商業の振興	吉備路の観光資源を生かした観光の振興
全 体		1,202 —	201 16.7	100 8.3	306 25.5	198 16.5	160 13.3	322 26.8
問 1 郷 土 愛	感じる	469 —	84 17.9	38 8.1	125 26.7	81 17.3	53 11.3	148 31.6
	どちらかといえば感じる	490 —	78 15.9	47 9.6	124 25.3	79 16.1	68 13.9	117 23.9
	どちらかといえば感じない	163 —	29 17.8	11 6.7	37 22.7	27 16.6	23 14.1	42 25.8
	感じない	53 —	7 13.2	2 3.8	12 22.6	6 11.3	12 22.6	12 22.6
	無回答	27 —	3 11.1	2 7.4	8 29.6	5 18.5	4 14.8	3 11.1
	区分	男女共同参画の社会づくり	国際交流の推進	自治組織や町内会などへの支援	市政への市民参加	市役所の窓口の利用のしやすさ	市のホームページ・広報紙	無回答
全 体		69 5.7	33 2.7	274 22.8	163 13.6	350 29.1	69 5.7	63 5.2
問 1 郷 土 愛	感じる	25 5.3	8 1.7	114 24.3	70 14.9	113 24.1	29 6.2	21 4.5
	どちらかといえば感じる	31 6.3	15 3.1	110 22.4	64 13.1	153 31.2	33 6.7	23 4.7
	どちらかといえば感じない	6 3.7	4 2.5	27 16.6	26 16.0	64 39.3	5 3.1	9 5.5
	感じない	6 11.3	4 7.5	19 35.8	3 5.7	15 28.3	2 3.8	2 3.8
	無回答	1 3.7	2 7.4	4 14.8	0 0.0	5 18.5	0 0.0	8 29.6

良くなったと感じることから見た産業・その他の分野では、全体として大きな特徴は見られないが、「バスやタクシーの利便性」で、「吉備路の観光資源を生かした観光の振興」が、36.6%となっている。また「地産地消や農地の活用などの農業」で、「特産品の開発やサン直など特色ある農業」が、37.6%、「町内会や自治会の活動・ボランティア活動」で、「自治組織や町内会などへの支援」が、32.1%と、他の回答に比べ高くなっている。

表 30 良くなったと感じることから見た産業・その他の分野

(上段：件数、下段：%)

区分	全体	国道や県道などの幹線道路の整備	ほ場整備などの農地の整備	特産品の開発やサン直など特色ある農業	工業の振興や企業誘致	商業の振興	吉備路の観光資源を生かした観光の振興	男女共同参画の社会づくり	国際交流の推進	自治組織や町内会などへの支援	市政への市民参加	市役所の窓口の利用のしやすさ	市のホームページ・広報紙	無回答
全体	1,202	201	100	306	198	160	322	69	33	274	163	350	69	63
	—	16.7	8.3	25.5	16.5	13.3	26.8	5.7	2.7	22.8	13.6	29.1	5.7	5.2
問10 良くなった点														
道路の整備	583	87	40	168	109	85	158	35	14	120	76	170	34	29
	—	14.9	6.9	28.8	18.7	14.6	27.1	6.0	2.4	20.6	13.0	29.2	5.8	5.0
日常の買い物や雇用などの商工業	172	44	15	30	38	19	47	12	10	33	23	53	9	5
	—	25.6	8.7	17.4	22.1	11.0	27.3	7.0	5.8	19.2	13.4	30.8	5.2	2.9
バスやタクシーの利便性	82	9	7	25	12	4	30	2	1	15	8	32	7	5
	—	11.0	8.5	30.5	14.6	4.9	36.6	2.4	1.2	18.3	9.8	39.0	8.5	6.1
公園・広場の整備	133	23	12	34	19	18	31	9	3	31	17	47	8	6
	—	17.3	9.0	25.6	14.3	13.5	23.3	6.8	2.3	23.3	12.8	35.3	6.0	4.5
インターネット・ケーブルテレビなど情報基盤の整備	280	57	22	72	55	35	68	20	7	60	42	76	17	12
	—	20.4	7.9	25.7	19.6	12.5	24.3	7.1	2.5	21.4	15.0	27.1	6.1	4.3
水道や下水道の整備	381	57	30	98	64	54	92	23	5	104	57	114	22	16
	—	15.0	7.9	25.7	16.8	14.2	24.1	6.0	1.3	27.3	15.0	29.9	5.8	4.2
公害防止や自然景観の保全への取り組み	59	11	12	14	11	8	15	5	3	15	8	11	5	0
	—	18.6	20.3	23.7	18.6	13.6	25.4	8.5	5.1	25.4	13.6	18.6	8.5	0.0
ごみ処理やりサイクル、省エネへの取り組み	547	94	44	137	77	63	165	30	13	126	71	159	38	30
	—	17.2	8.0	25.0	14.1	11.5	30.2	5.5	2.4	23.0	13.0	29.1	6.9	5.5
防犯・防災・交通安全への対策	79	13	10	19	14	12	20	4	2	17	9	22	8	3
	—	16.5	12.7	24.1	17.7	15.2	25.3	5.1	2.5	21.5	11.4	27.8	10.1	3.8
子育て支援への取り組み	114	12	4	32	17	17	37	6	5	27	20	38	4	3
	—	10.5	3.5	28.1	14.9	14.9	32.5	5.3	4.4	23.7	17.5	33.3	3.5	2.6
福祉・医療・健康づくり活動の充実	135	17	16	33	18	14	36	8	4	35	20	40	6	10
	—	12.6	11.9	24.4	13.3	10.4	26.7	5.9	3.0	25.9	14.8	29.6	4.4	7.4
地産地消や農地の活用などの農業	125	23	6	47	18	21	31	6	5	18	23	38	4	5
	—	18.4	4.8	37.6	14.4	16.8	24.8	4.8	4.0	14.4	18.4	30.4	3.2	4.0
スポーツ活動や施設整備	171	27	13	47	34	32	51	11	6	38	23	47	7	2
	—	15.8	7.6	27.5	19.9	18.7	29.8	6.4	3.5	22.2	13.5	27.5	4.1	1.2
学校教育	18	4	1	3	4	4	6	2	0	5	1	4	2	0
	—	22.2	5.6	16.7	22.2	22.2	33.3	11.1	0.0	27.8	5.6	22.2	11.1	0.0
生涯学習・芸術・文化活動	88	10	8	26	15	14	28	3	1	19	18	29	3	1
	—	11.4	9.1	29.5	17.0	15.9	31.8	3.4	1.1	21.6	20.5	33.0	3.4	1.1
町内会や自治会の活動・ボランティア活動	56	13	6	8	7	8	15	4	3	18	8	18	1	1
	—	23.2	10.7	14.3	12.5	14.3	26.8	7.1	5.4	32.1	14.3	32.1	1.8	1.8
市の行政情報の提供や窓口サービス	75	16	6	20	7	15	16	3	2	16	16	13	7	6
	—	21.3	8.0	26.7	9.3	20.0	21.3	4.0	2.7	21.3	21.3	17.3	9.3	8.0
その他	2	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
	—	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
無回答	104	20	10	16	16	12	24	6	3	30	8	27	5	12
	—	19.2	9.6	15.4	15.4	11.5	23.1	5.8	2.9	28.8	7.7	26.0	4.8	11.5

(12) 総社市の将来像

問 12 あなたは、総社市が将来どんなまちになることが望ましいと思いますか。次の項目のなかから1つ選んでください。

総社市の望ましい将来像については、「福祉の施設や制度が充実しているまち（福祉都市）」が33.1%で最も高くなっている。次いで、「エコロジーや地球環境を守り、自然環境を大切にす  
るまち（環境都市）」が18.9%、「都市基盤が充実し、優れた居住環境をもつまち（住宅都市）」が12.9%となっている。以下、「多くの文化財など歴史の重みを伝えるまち（歴史都市）」（9.2%）、  
「観光施設が充実し、多く観光客が訪れるまち（観光都市）」（6.0%）、「さまざまな店舗や商店  
が立地する商業が盛んなまち（商業都市）」（4.5%）、「先端技術をもった工場などが多く立地す  
るまち（工業都市）」（4.1%）、「市民の文化活動やスポーツが盛んなまち（文化・スポーツ都市）」  
（3.0%）、「大学を核に、教育施設や研究施設などが充実したまち（学園都市）」（2.2%）、「鉄道  
や道路が集中し、人や物が集まるまち」（2.2%）の順になっている。

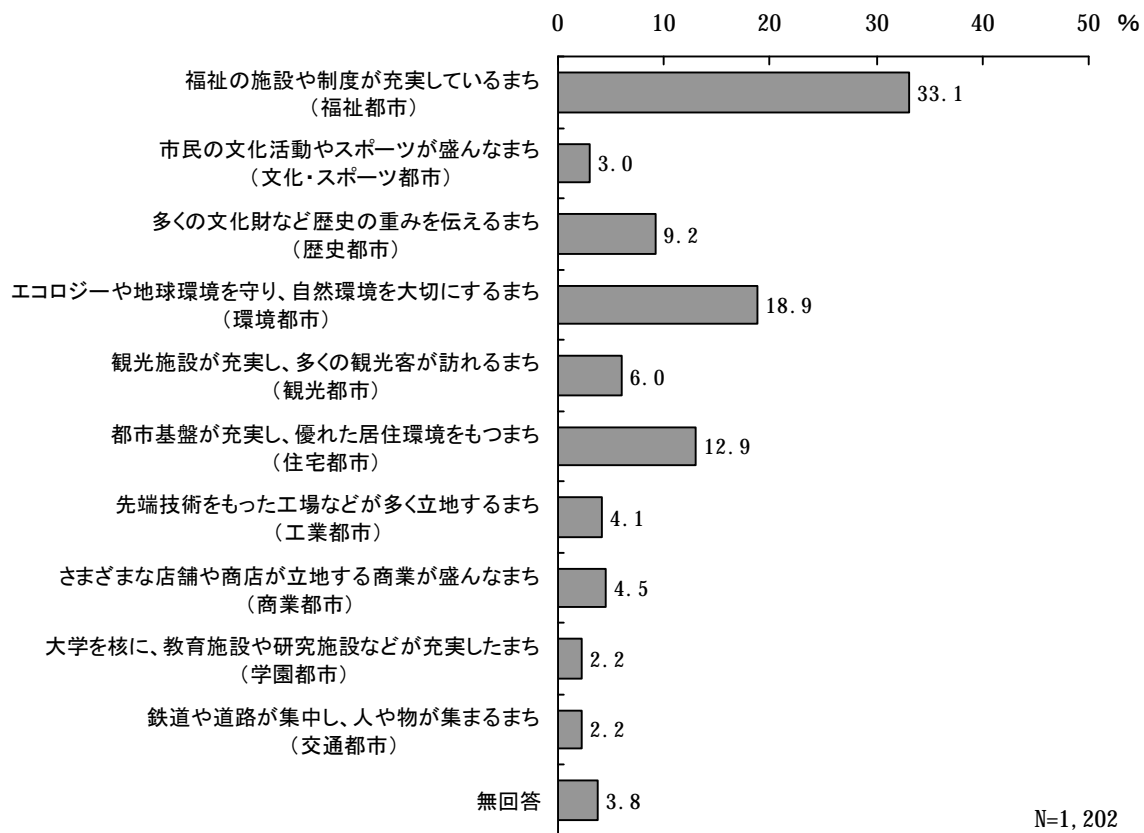


図 18 総社市の将来像

属性別で見ると、“性別”では、第一位は同じであるが、第二位に「男性」は「都市基盤が充実し、優れた居住環境をもつまち（住宅都市）」を、「女性」は「エコロジーや地球環境を守り、自然環境を大切にしたいまち（環境都市）」をあげている。“年齢別”においては、30歳代～50歳代では「都市基盤が充実し、優れた居住環境をもつまち（住宅都市）」に示す割合が高いのに対し、60歳以上では、「福祉の施設や制度が充実しているまち（福祉都市）」が高くなっている。“居住地別”では、「下倉地区」で「福祉の施設や制度が充実しているまち（福祉都市）」に示す割合が際だって高くなっているが、サンプル数が少なく、一概に結論づけることはできない。

表 31 属性別に見た総社市の将来像

(上段：件数、下段：%)

区分	全体	福祉の施設や制度が充実しているまち(福祉都市)	市民の文化活動やスポーツが盛んなまち(文化・スポーツ都市)	多くの文化財など歴史の重みを伝えるまち(歴史都市)	エコロジーや地球環境を守り、自然環境を大切にするまち(環境都市)	観光施設が充実し、多くの観光客が訪れるまち(観光都市)	都市基盤が充実し、優れた居住環境をもつまち(住宅都市)	先端技術をもった工場などが多く立地するまち(工業都市)	さまざまな店舗や商店が立地する商業が盛んなまち(商業都市)	大学を核に、教育施設や研究施設などが充実したまち(学園都市)	鉄道や道路が集中し、人や物が集まるまち(交通都市)	無回答		
全体	1,202 100.0	398 33.1	36 3.0	111 9.2	227 18.9	72 6.0	155 12.9	49 4.1	54 4.5	27 2.2	27 2.2	46 3.8		
性別	男性	457 100.0	135 29.5	17 3.7	52 11.4	72 15.8	19 4.2	73 16.0	32 7.0	21 4.6	7 1.5	10 2.2	19 4.2	
	女性	712 100.0	254 35.7	18 2.5	59 8.3	152 21.3	51 7.2	77 10.8	16 2.2	30 4.2	17 2.4	17 2.4	21 2.9	
	無回答	33 100.0	9 27.3	1 3.0	0 0.0	3 9.1	2 6.1	5 15.2	1 3.0	3 9.1	3 9.1	0 0.0	6 18.2	
年齢	20～29歳	73 100.0	15 20.5	5 6.8	10 13.7	17 23.3	5 6.8	7 9.6	3 4.1	9 12.3	0 0.0	2 2.7	0 0.0	
	30～39歳	104 100.0	32 30.8	5 4.8	13 12.5	20 19.2	4 3.8	18 17.3	4 3.8	4 0.0	0 1.9	2 1.9	2 1.9	
	40～49歳	135 100.0	41 30.4	4 3.0	16 11.9	32 23.7	8 5.9	19 14.1	7 5.2	3 2.2	3 2.2	1 0.7	1 0.7	
	50～59歳	230 100.0	70 30.4	8 3.5	23 10.0	47 20.4	9 3.9	43 18.7	5 2.2	10 4.3	3 1.3	5 2.2	7 3.0	
	60～69歳	299 100.0	107 35.8	6 2.0	27 9.0	63 21.1	21 7.0	33 11.0	15 5.0	10 3.3	7 2.3	4 1.3	6 2.0	
	70歳以上	333 100.0	127 38.1	7 2.1	22 6.6	45 13.5	25 7.5	30 9.0	14 4.2	15 4.5	11 3.3	13 3.9	24 7.2	
	無回答	28 100.0	6 21.4	1 3.6	0 0.0	3 10.7	0 0.0	5 17.9	1 3.6	3 10.7	3 10.7	0 0.0	6 21.4	
	居住地	総社地区	418 100.0	132 31.6	13 3.1	36 8.6	82 19.6	29 6.9	66 15.8	8 1.9	21 5.0	8 1.9	14 3.3	9 2.2
		常盤地区	138 100.0	56 40.6	1 0.7	10 7.2	29 21.0	5 3.6	22 15.9	3 2.2	4 2.9	4 2.9	1 0.7	3 2.2
三須地区		48 100.0	16 33.3	2 4.2	10 20.8	9 18.8	3 6.3	2 4.2	0 0.0	2 4.2	1 2.1	1 2.1	2 4.2	
服部地区		44 100.0	12 27.3	1 2.3	6 13.6	4 9.1	2 4.5	8 18.2	2 4.5	3 6.8	3 6.8	1 2.3	2 4.5	
阿曾地区		54 100.0	18 33.3	5 9.3	8 14.8	11 20.4	4 7.4	6 11.1	1 1.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.9	
池田地区		36 100.0	7 19.4	2 5.6	8 22.2	5 13.9	5 13.9	5 13.9	1 2.8	1 2.8	0 0.0	0 0.0	2 5.6	
秦地区		40 100.0	16 40.0	1 2.5	5 12.5	3 7.5	1 2.5	5 12.5	4 10.0	0 0.0	1 2.5	1 2.5	3 7.5	
神在地区		38 100.0	12 31.6	2 5.3	2 5.3	6 15.8	2 5.3	6 15.8	2 5.3	3 7.9	0 0.0	0 0.0	3 7.9	
久代地区		52 100.0	19 36.5	1 1.9	3 5.8	13 25.0	4 7.7	2 3.8	3 5.8	0 0.0	2 3.8	3 5.8	2 3.8	
山田地区		18 100.0	6 33.3	1 5.6	1 5.6	5 27.8	1 5.6	1 5.6	1 5.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 11.1	
新本地区		27 100.0	10 37.0	1 3.7	1 3.7	6 22.2	4 14.8	3 11.1	1 3.7	1 3.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
日美地区		41 100.0	19 46.3	2 4.9	0 0.0	8 19.5	2 4.9	1 2.4	6 14.6	1 2.4	0 0.0	0 0.0	2 4.9	
水内地区		18 100.0	7 38.9	0 0.0	0 0.0	5 27.8	1 5.6	2 11.1	2 11.1	0 0.0	1 5.6	0 0.0	0 0.0	
下倉地区		12 100.0	7 58.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 8.3	2 16.7	1 8.3	0 0.0	0 0.0	1 8.3	0 0.0	
富山地区		6 100.0	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	
山手地区		74 100.0	22 29.7	1 1.4	14 18.9	13 17.6	5 6.8	9 12.2	3 4.1	2 2.7	0 0.0	3 4.1	2 2.7	
清音地区		106 100.0	30 28.3	2 1.9	5 4.7	24 22.6	3 2.8	10 9.4	9 8.5	12 11.3	3 2.8	1 0.9	7 6.6	
無回答		32 100.0	7 21.9	1 3.1	1 3.1	3 9.4	0 0.0	5 15.6	2 6.3	4 12.5	3 9.4	0 0.0	6 18.8	

(13) 意見・要望

最後に、日頃お気付きの点や、ご意見・ご要望などがございましたら、何でもお書きください。

意見・要望の中では、「産業・建設」に関連するものが最も多く、31.3%である。次いで、「生活環境」(30.1%)、「行政」(27.6%)、「市政全般」(25.3%)、「福祉」(21.9%)、「教育・文化」(10.5%)、「議会」(5.3%)、「消防」(0.2%)の順に多くの意見・要望が寄せられている。

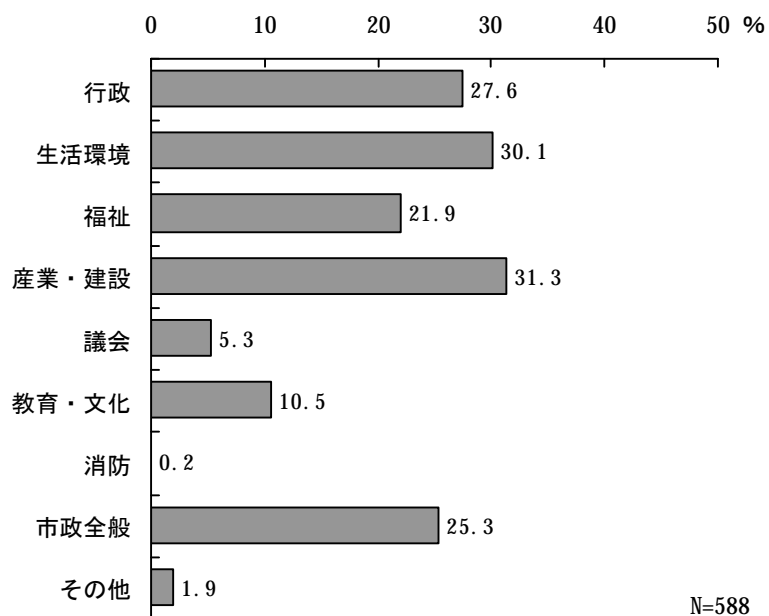


図 19 意見・要望

属性別で見ると、“性別”では「男性」は「産業・建設」(34.9%)に、「女性」は「生活環境」(32.5%)に関連する内容がそれぞれ最も多くなっている。“年齢別”においては、30歳代、40歳代で「教育・文化」に関連する意見・要望が多く寄せられている。

“居住地別”では際だった特徴は見られない。

表 32 属性別に見た意見・要望

(上段：件数、下段：%)

区分	全体	行政	生活環境	福祉	産業・建設	議会	教育・文化	消防	市政全般	その他	
全 体	588	162	177	129	184	31	62	1	149	11	
	—	27.6	30.1	21.9	31.3	5.3	10.5	0.2	25.3	1.9	
性別	男性	215	60	58	44	75	13	21	0	57	5
		—	27.9	27.0	20.5	34.9	6.0	9.8	0.0	26.5	2.3
	女性	357	102	116	81	104	18	40	1	86	6
	—	28.6	32.5	22.7	29.1	5.0	11.2	0.3	24.1	1.7	
	無回答	16	0	3	4	5	0	1	0	6	0
	—	0.0	18.8	25.0	31.3	0.0	6.3	0.0	37.5	0.0	
年 齢	20～29歳	32	13	9	7	12	0	3	0	10	0
		—	40.6	28.1	21.9	37.5	0.0	9.4	0.0	31.3	0.0
	30～39歳	40	10	8	12	10	0	6	0	16	1
		—	25.0	20.0	30.0	25.0	0.0	15.0	0.0	40.0	2.5
	40～49歳	65	20	24	18	15	3	14	0	16	1
		—	30.8	36.9	27.7	23.1	4.6	21.5	0.0	24.6	1.5
	50～59歳	114	32	39	19	28	10	11	0	28	1
	—	28.1	34.2	16.7	24.6	8.8	9.6	0.0	24.6	0.9	
60～69歳	165	52	44	38	64	9	16	1	31	4	
	—	31.5	26.7	23.0	38.8	5.5	9.7	0.6	18.8	2.4	
70歳以上	158	35	50	32	50	9	11	0	44	4	
	—	22.2	31.6	20.3	31.6	5.7	7.0	0.0	27.8	2.5	
	無回答	14	0	3	3	5	0	1	0	4	0
	—	0.0	21.4	21.4	35.7	0.0	7.1	0.0	28.6	0.0	
居 住 地	総社地区	206	64	66	47	59	8	27	0	52	8
		—	31.1	32.0	22.8	28.6	3.9	13.1	0.0	25.2	3.9
	常盤地区	60	14	18	15	25	5	9	0	13	0
		—	23.3	30.0	25.0	41.7	8.3	15.0	0.0	21.7	0.0
	三須地区	27	4	10	6	9	1	0	0	10	0
		—	14.8	37.0	22.2	33.3	3.7	0.0	0.0	37.0	0.0
	服部地区	16	5	5	4	4	2	0	0	3	1
		—	31.3	31.3	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	18.8	6.3
	阿曾地区	28	11	6	6	7	1	0	0	7	0
		—	39.3	21.4	21.4	25.0	3.6	0.0	0.0	25.0	0.0
	池田地区	20	6	6	6	7	1	1	0	6	0
		—	30.0	30.0	30.0	35.0	5.0	5.0	0.0	30.0	0.0
	秦地区	18	3	5	5	5	0	1	0	6	0
		—	16.7	27.8	27.8	27.8	0.0	5.6	0.0	33.3	0.0
	神在地区	21	3	7	5	9	2	3	0	6	0
		—	14.3	33.3	23.8	42.9	9.5	14.3	0.0	28.6	0.0
	久代地区	24	4	9	3	9	4	1	0	3	0
		—	16.7	37.5	12.5	37.5	16.7	4.2	0.0	12.5	0.0
	山田地区	9	2	3	0	3	1	1	0	1	0
		—	22.2	33.3	0.0	33.3	11.1	11.1	0.0	11.1	0.0
新本地区	17	6	5	2	2	1	0	0	5	0	
	—	35.3	29.4	11.8	11.8	5.9	0.0	0.0	29.4	0.0	
日美地区	21	4	5	6	5	0	3	0	6	0	
	—	19.0	23.8	28.6	23.8	0.0	14.3	0.0	28.6	0.0	
水内地区	10	3	1	1	6	0	0	0	2	0	
	—	30.0	10.0	10.0	60.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	
下倉地区	8	2	1	0	3	0	3	0	3	0	
	—	25.0	12.5	0.0	37.5	0.0	37.5	0.0	37.5	0.0	
富山地区	2	1	0	0	2	0	0	0	0	0	
	—	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
山手地区	35	12	8	6	8	1	2	1	10	0	
	—	34.3	22.9	17.1	22.9	2.9	5.7	2.9	28.6	0.0	
清音地区	51	17	19	12	17	4	10	0	13	2	
	—	33.3	37.3	23.5	33.3	7.8	19.6	0.0	25.5	3.9	
	無回答	15	1	3	5	4	0	1	0	3	0
	—	6.7	20.0	33.3	26.7	0.0	6.7	0.0	20.0	0.0	